

貨幣ノ費用ヲ減スルコトヲ得ヘク又今日ノ有様ニ於テ地金ノ賣買ヲ行フノ困難ナルニ乘シテ衣食スル所ノ夫ノ地金取扱商兩換商ヲシテ濫ニ空利ヲ得セシムルノ機會ヲ減少スルコトヲ得ヘシ其他旅客ノ困難及ヒ損失ヲ避クルノ便益モ少ナカラサルヘシ今日國際間ノ交通益頻繁トナルニ當リテハ旅客ノ員數益増加スヘキカ故ニ旅客ニ對スル不便ハ成ルヘク丈ケ除却セサル可カラサルナリ尙ホ萬國共通貨幣ヨリ生スル他ノ利益ハ之ヲ採用スルコトニ依リテ半開諸國ノ通貨ニ改良ヲ來スコトナリ宇内ノ諸國ニ於テハ今日ニ至ルモ未タ其國固有ナル貨幣ヲ有セサルモノ少ナカラズ價格ノ明カナラサル種々ノ貨幣混入シ其混雜甚タシキコトハ半開諸國ニ於テ通常見ル所ナリ若シ斯カル場合ニ於テ一定ノ共通貨幣行ハルハトキハ著シキ便益アルヘシ已ニ墨其哥弗ノ如キハ實際萬國共通貨幣トシテ久シク諸國ニ行ハレ殊ニ該貨幣價格ノ起票トナル所ノ國ニ於テハ商人ハ契約ヲ爲スニ當リテ何ヲ以テ標準トナスヘキヤニツキ少シモ困難ヲ蒙ラサルナリ今若シ諸方ノ文明國ニ於テ重量及ヒ大小ノ同一ナル貨幣ヲ發行スルコトアラシニハ其均一ノ貨幣ハ未タ固有ノ貨幣ナキ國々ニ流入シ

二

三

其國々ノ通貨ヲ構成シ廣ク通貨ノ改良ヲ世界ノ僻隅ノ地ニ及ホスヘキナリ

第三節 萬國共通貨幣ノ不便

萬國共通貨幣ハ上ニ陳ヘタル如ク便益アルモ之ヲ行フトキハ又不便ノ伴フモノナリ例ヘハ同盟諸國中一國ノ政府少シク本位以下ニ下ル貨幣ヲ鑄造シテ斯カル貨幣ノ一タヒ通用セラルハトキハ夫ノグクシヤムノ法則ニ依リテ右ノ惡貨幣獨リ勢ヲ逞フシ良貨幣ヲ驅逐シ此惡貨幣ハ容易ニ排除セラルコトナキニ至ルヘシ佛國ノ造幣局ノ如キハ本位以下ニ下リタル貨幣ヲ發行シタルモノナリ佛國ノ金貨ハ法律上千分中九百分ノ品位ヲ有スベキモノナルニ之ヲ分析審査スルトキハ八百九十八分乃至八百九十九分ノ品位ニ過キサルモノ通常見ル所ナリ佛國造幣局ノ公差ハ千分ノ二ナルヲ以テ右ノ貨幣ハ法律上流通ニ差支ナキモノナレトモ造幣局ノ吏員ハ此公差ヲ妄用シ其差ニ付テ利益ヲ得ントシタルモノナリ元來何レノ造幣局ニ於テ發行スル貨幣ハ皆テ殆ント精密ナル本位ノ純分ヲ有セサルヘカラス而シテ其公差トシテ許ス所ノモノハ造幣技術

ノ未タ全ク完全ナラス其本位トシテ規定シタル所ト毫釐ヲ違ヘスシテ鑄造スルコト能ハサルコトヲ怒スルカ爲メニシテ決シテ故意ニ之ヲ利用シテ利益ヲ計ルヘキモノニアラス

國際上同盟ノ規約ヲ爲シテ貨幣ヲ發行スル邦國ハ右ノ如キ方法ニ依リテ僅カニ千分ノ一分若クハ二分ノ利益ヲ貪ランコトヲ欲スルコト恐ラクハ無カルヘシ今此種ノ貨幣ノ統一ヲ保タントセハ諸國ノ造幣局ノ吏員及ヒ分析者相集合シ鑄造分析ニ關シ共ニ採ルヘキ一樣ノ方法ヲ定ムヘキコトハ望マシキコトナリ而シテ從來諸國貨幣ノ鑄造ニ關シ固ク信ヲ守リタルモノ少ナカラス西班牙墨其哥ノ如キハ決シテ財政上誠實ノ國ナリト見ルコト能ハサルモ其造幣局ハ銀ノ弗貨ノ發行ニ關シテハ重量及ヒ純分ノ本位ヲ終始正實ニ保チタルカ爲メニ大ニ世人ノ信用ヲ博シ右ノ銀貨ハ已ニ數百年間世界ノ多クノ地方ニ於テ人ヲ殆ント疑フコトナク容易ニ之ヲ授受シ來リタルノミナラス尙ホ一時ハ英國ニ於テモ流通セリ萬國共通貨幣ノ行ヒ得ヘキコトハ假令別ニ國際條約ノ設ケナキモ諸國ノ貨幣ハ今日他ノ數多ノ國民ニ於テモ合法貨幣トシテ認メラル、

四

ノ事實アルヲ以テ證明スルコトヲ得ヘシ例ハ英國ノ「ツベリ」貨幣ノ如キハ獨リ英國殖民地ニ於テ通用スルノミナラス尙ホ又葡萄牙埃及ブラジル等ニ於テモ通用シタルモノナリ又「ナボレオン」貨カ歐洲諸國ニ於テ自由ニ流通シ來リタルカ如キ和蘭ノ「ジュカット」貨カ非常ニ愛重セラレタル貨幣タリシカ如キ皆以テ萬國共通貨幣ノ實施シ得ヘキコトヲ示スニ足ルヘシ

第四節 貨幣制度ノ衝突

萬國共通貨幣ヲ採用スルニ當リテ重ナル障碍ハ佛國英國米國獨逸等ノ如キ數多ノ強大ナル國民カ各自ノ貨幣制度ヲ有シ其制度ヲ拋棄シテ新ナル制度ヲ採ルコトヲ欲セサルニ在リトス是等ノ諸國ノ制度ハ何レモ他ニ卓越シタル長所アルニアラサルカ故ニ皆自己ノ制度ヲ以テ萬國共通貨幣ヲ設立センコトヲ欲シ互ニ相讓ルコトナキカ爲メニ萬國共通貨幣ヲ設定スルコト容易ナラス佛國ノ制度ハ「フランク」ヲ基礎トシ十進法ニ依リタル良法ニシテ且既ニ白耳義瑞典伊太利ヲ始メ西班牙希臘ノ如キモ此制度ヲ採リ壤土利ノ金貨モ亦此法ニ依

レモノニシテ右等ノ諸國ニ於テ共通貨幣トシテ用ヒラル、コト、ノ希望ヲ有スルモノナリ英國ノ制度ニ於テハ磅以下ノ小分ハ甚タ不便ナルモ磅ハ優レタル價格ノ起票ニシテ今日各國中最モ大ナル起票ナリ且金貨ナルカ故ニ漸次諸國ノ富強ニ赴クニ從ヒ最モ適當ナル起票ナリ該英貨ハ獨リ歐洲ノ僻隅即チ葡萄牙ニ於テノミ通用スト雖モ今日日進ノ勢アルオーストリア、ポリチヤ、及ヒ亞弗利加ノ殖民地ニ於テハ既ニ之ヲ用ヒタリ加之ナラス英國ノ商業及ヒ航海ノ盛ナルヨリシテ英貨ハ世界至ル所ニ於テ人ノ熟知スル所ナリ又米國ノ弗貨ハ其分割十分法ニ依リ極メテ便利ナリ而シテ此貨幣タル既ニ二三十年ノ間廣ク諸邦ニ於テ行ハレ今日ノ開化ノ度ニ適スル起票ナルノミナラス今ヤ旭日ノ勢ヲ以テ日々ニ隆盛ニ赴キ將來最モ富強ノ有様ニ達スヘキ一大邦國ノ使用スル貨幣ナルカ故ニ之ヲ萬國共通貨幣トナスノ便利ナルコトハ疑チ容レサルナリ此ノ如ク佛國英國米國等各著シク優劣ナキカ故ニ萬國共通貨幣チ一定スルコトハ容易ノ業ニ非ス

第五節 國際貨幣條約

萬國共通貨幣ヲ設定スルカ爲メニ各國ヨリ委員ヲ派出シテ集會討議ヲ試ミタルハ前後數年ナリシカ千八百五十五年度量衡及ヒ貨幣チシテ十進法ノ制ニ準據セシメンカ爲メニ佛國巴里ニ於テ國際會議ヲ開キタルヲ以テ始トナス次テ千八百五十八年六十年及ヒ六十三年ニ倫敦及ヒ伯林ニ於テ會議ヲ開キ千八百六十五年十二月ニ於テハ佛蘭西白耳義瑞西及ヒ伊太里ノ間ニ國際共通貨幣ノ條約ヲ結ヘリ

千八百六十三年ノ會議ノ報告中ニハ甚タ重要ナル議決アリテ其一ニチ舉クレハ銀及ヒ銅貨ヲ以テ補助貨ト爲シタル金本位チ最モ便利ナリトシタルコト、一切ノ本位貨幣ハ十分ノ九ノ純分チ有スヘキコト、及ヒ貨幣ノ重量ハメトリック衡法ニ據ラシムルコト等ナリトス

千八百七十年普佛戰爭ノ開戦ニ先タチ佛國ニ於テハ勅撰委員チ設ケ商務卿兼參事院議長チ以テ其總裁ト爲シ本位及ヒ萬國共通貨幣ニ關スル種々ノ問題ニ

就キ審查セシメタルニ其委員ノ多數ハ金貨單本位制ヲ可ナリトセリ
今佛、埃、米、英、諸國ノ貨幣ノ起票ヲ比較シ其價格ヲ「フランク」ニテ見積リタルニ是
等ノ貨幣ハ殆ト「フランク」ノ或ル倍數ニ當ルコトヲ見ルナリ是全ク偶然ニ生シ
タルモノニシテ殊更ニ斯ク爲シタルモノニ非ス即チ試ニ左表ヲ見ルヘシ

一法

「フランク貨」 (法) 二、四七

弗貨 (米國金) 五、一八

「ソベレイン貨」 (英國金) 二五、二二

故ニ是等ノ貨幣ヲシテ精密ニ「フランク」ノ倍數ト爲サンニハ次ノ如ク改ムルヲ
要ス

「フランク貨」 一

「フロリン貨」 二、五

弗貨 五、

「ソベレイン貨」 二五、

即チ「フロリン」貨ノ重量百分ノ一、二一ヲ増加シ弗貨ノ重量百分ノ三、五「ソベレ
イン」貨ノ重量百分ノ〇、八八ヲ減少セハ右ノ四種ノ貨幣ハ相互ニ對シテ單純ナ
ル比例ヲ有スルニ至ルヘシ此ノ如ク爲ストキハ諸國ノ貨幣制度ハ至リテ僅ナ
ル變更ヲ爲スノミニシテ諸種ノ貨幣ハ容易ニ諸國ノ間ニ通用シ計算ノ不便モ
ナク何レノ貨幣モ國際共通貨幣トシテ通用スルニ至ルヘシ例ヘハ英國ノ磅貨
ハ佛國ニ於テ二十五「フランク」ニ通用シ米國ニ於テハ五弗ニ通用スヘク米國ノ
弗貨ハ佛國ニ於テ五「フランク」英國ニ於テ四「シルリング」トシテ流通スルヲ得ヘ
キナリ

諸國ノ起票貨幣ノ價格ノ關係此ノ如クナルヲ以テ若シ右ノ如ク多少ノ變更ヲ
加フルトキハ萬國共通貨幣ノ實容易ニ舉カルヘシト雖モ惜ムヘシ國際會議ニ
於テハ進ミテ何レヲ以テ起票ノ貨幣ト爲スヘキヤヲ定メサリシカ爲メニ速カ
ニ功ヲ奏スルコト能ハサリシ之ニ加フルニ千八百六十五年以來獨逸帝國及ヒ
瑞典、諾威ノ王國ニ於テ右ノ狀情ヲ試ミスシテ貨幣ノ變更ヲ爲シタルコトハ殊
ニ萬國共通貨幣ノ進歩ヲ阻障セリ

第六節 獨逸ノ貨幣改定

獨逸ニ於テハ元來數種ノ貨幣混淆シテ流通シ幣政大ニ紊亂シタリシカ其貨幣改革ヲ行フヤ舊來ノ銀貨ニ代フルニ金貨ヲ以テシ之ヲ以テ價格ノ尺度及ヒ無制限ノ合法貨幣トセリ而シテ其價格ノ起票ハ「マーク」ニシテ「マーク」ハ十分ノ九ノ純分ヲ有スル金ノ六「グレイン」ニ四六五ヨリ成リ恰モ英貨十一片四分ノ三ニ當ルモノナリ而シテ通常使用スル主要ノ貨幣ハ二十「マーク」貨ニシテ此貨幣ハ百二十二「グレイン」九二即チ七「グラム」九六四九五四ノ重量ヲ有シ七「グラム」二六八四五九ノ純分ヲ有スルナリ又十「マーク」ノ貨幣アリテ其重量ハ全ク二十「マーク」ノ半分ナリ

銀及ヒ白銅ノ補助貨ハ英國ノ集合制度ニ基キ發行セテレテ金貨ヲ補助ス其銀貨ニ於ケル鑄造料ハ百分ノ一一・一一ニシテ之ヲ英國及ヒ佛國ノ鑄造料ニ比スレハ甚タ高キモノナリ英國ノ鑄造料ハ百分ノ九佛國ノ鑄造料ハ百分ノ七七・八四ナリ

次ニ獨逸ノ二十「マーク」貨ト英國ノ「ソベレイン」貨及ヒ佛國ノ二十五「フランク」貨トノ純分ヲ比較スレバ「ソベレイン」貨ノ純分ハ七「グラム」二五八一・二十「マーク」貨ノ純分ハ七「グラム」二六八五ナリ故ニ獨逸ノ其幣政ヲ改革シテ新ニ金貨ヲ製造スルニ當リテ其二十「マーク」ノ重量ヲ百分ノ一二・五次ク増加シ佛國ノ二十五「フランク」ト均シク其純分ヲ七「グラム」二五八一ト爲スカ若クハ尙ホ更ニ増加シテ英國ノ「ソベレイン」貨ノ如ク七「グラム」三二四ト爲スカ其何レチカ採ラタラシムハ萬國共通貨幣ノ施行上實ニ好都合ナリシニ策茲ニ出テスシ七「グラム」二六八五ノ純分ニ定メタルハ聊カ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ蓋獨逸ニ於テ「マーク」貨幣ノ重量ヲ此ノ如ク定メタルハ唯三「マーク」ヲ以テ從來ノ「タール」ニ當ラシムル爲メナリシカ如シト雖モ又該國カ佛國ヲ敵國視スルノ甚タシキ貨幣ノ制度ニ至ルマテ佛國ノ制度ニ倣フチ嫌惡セシニ依リタルコト尠ナカラサリシカ如シ

第七節 小貨幣ノ制度

萬國共通貨幣ノ起票ヲ撰定シタルニ於テハ其起票ヲ小分スルノ方法ヲ定メサ

第八節 萬國共通貨幣ノ起票ヲ撰定スルコト

萬國共通貨幣ニ用フヘキ起票ノ高ニ付テハ種々ノ議論アリ其一ニ曰ク漸次國民ノ富増加シ且之ト共ニ金ノ價格下落スルカ故ニ貨幣ノ起票ハ大ナルヲ要ス左レハ「フランク」ノ如キハ小ニ過キ起票ト爲スニ適セス磅ハ是ヨリ大ニシテ以テ起票ト爲スヘシト然レトモ此議論ハ左マテ要用ナルモノニアラス如何ニ起票ヲ定ムルモ吾人ノ受授スル高ハ非常ニ大小アルモノナルヲ以テ其隔絶シタル種々ノ高ヲ表示スルニ常ニ同一ノ起票ヲ以テスルコトハ到底爲シ能ハサル所ナリ例ヘハ勞力者ノ賃銀ヲ計算スルニ「シルリング」ヲ以テシ書記ノ給料ヲ拂フニハ磅ヲ以テシ商人若クハ銀行ノ財産ヲ論スルニ當リテハ數千ノ磅ヲ以テシ又國家ノ收入若クハ國債ヲ計算スルニハ數百萬ノ磅ヲ以テスルカ如ク國內大小ノ取引高ヲ示スニ唯一ノ起票ヲ以テスルコト能ハサルナリ故ニ起票撰定ノ事ハ左マテ意ト爲スニ足ラサルナリ然レハ其起票ノ小分ニ付テハ遙ニ重要ニシテ吾人ノ注意スヘキモノアリ即チ起票ヲ小分シタル最低額ハ凡ソ商業

五十四

五十五

上ノ取引ニ於テ記載スルノ價值アル最小額ニ應スルモノナラサルヘカラス即チ取引上有用ナキ金高ニマテ起票ノ細分スルコトハ必要ナキナリ

第十五章 交換ノ仕組

第一節 總論

以上已ニ金屬貨幣ニ付テ略論シ盡シタルヲ以テ更ニ步ヲ進メテ大ニ發達セル商業國ニ於テ貴金屬ヲ節約スルカ爲メ如何ナル方法ノ行ハル、ヤチ考察セント欲ス凡ソ人民ノ貨幣制度ノ有用ナルコトヲ十分ニ經驗シタル後ハ最早貨幣ヲ以テ交換ノ媒介ト爲スノ必要ナキニ至リ再ヒ物品交換ニ類似スル方法ノ行ハル、ニ至ルナリ交易ハ恰モ物品交換ニ始マリ又物品交換ニ終ルト云フヲ得ヘシ然レトモ後ノ物品交換ハ初メノ物品交換ニ比スレハ著シク異ナリ即チ後ノ物品交換ニ於テハ賣買ハ金銀貨ノ名義ヲ以テ行ハレ其交換セラル、物品ハ貨幣ヲ以テ其價格ヲ表示シ又現金ノ取引ヲ要スルトキハ紙幣若クハ手形等ヲ

貨幣論

用ヒテ其金額ヲ表示シ若シ現金ヲ得ント欲スルトキハ之ヲ以テ現金ニ換ユル
コトヲ得ルモ現金ヲ受クルカ爲メニ之ヲ使用スルコトハ稀ナリ而シテ貨幣ニ
數職アルコトハ已ニ陳ヘタルカ如ク同一ノ金屬ヲシテ數職ヲ兼テシムルコト
便利ナルモ社會經濟發達ノ程度如何ニ拘ハラズ常ニ數職ヲ兼テシムヘント云
フニ非ス已ニ方今信用發達シタルニ當リテハ金銀ハ尙ホ價格ノ表示者タルノ
職務ヲ有スルモ交換ノ媒介タルノ職務ニ至リテハ殆ト其司トラサル所ナリ

第二節 交換ノ仕拂ノ發達

原始ノ社會ニ於テ物品交換ノ方法ヲ行ヒシヨリ以來交易ノ制度ハ種々ノ歩ヲ
踏ミ遂ニ貴金屬ヲ最少ニ使用シ以テ物品ノ交換ヲ行フ完全ナル仕組ヲ致スニ
至レリ今金屬貨幣ノ使用ヲ省略スル諸種ノ方策ヲ分類スレハ左ノ如シ

第一 代表貨幣ノ使用

第二 帳簿貸

第三 手形及ヒ手形交換所

第四 外國爲換手形ノ使用

第五 國際手形交換所

以上是ナリ乞フ先ツ代表貨幣ニ付テ一言セシ

第三節 代表貨幣

金屬貨幣ハ曩ニ論ヅタルカ如ク大ニ交換ヲ簡易圓滑ニ爲スモノナリ然レトモ
金銀貨ヲ使用スル人民ハ通常會社ノ進歩ニ依リテ金銀外ノモノヲ以テ交換ノ
用具トナスコトヲ發明シ僅少ナル地金ノ價格ヲ有スル貨幣若クハ名目價格ノ
ミチ有スル皮又ハ紙ノ片ヲ以テ正貨ニ代用シ正貨ノ證券トシテ彼我ノ間ニ流
通セシムルノ便利ナルヲ悟ルニ至レリ此ノ如クニシテ金銀若クハ銅貨ニ代表
セラル、所ノ物件ハ當初ハ其性質純然タル代表貨幣ナリシモ人民漸ク斯ル通
貨ノ使用ニ慣レ其本來ノ性質ヲ忘レ金屬ノ基礎ヲ離レテ毫モ價格ナキ皮若ク
ハ紙片ヲ尙ホ從來ノ如ク流通セシムルコトヲ得ルニ至リ所謂不換紙幣ナル現
象ヲ呈出セリ凡テ此ノ如キ通貨ハ之ヲ使用スル一國ノ境界外ニ出ツルコト能

ハサルナリ

國際間ノ取引ヲ行フ商人ハ正貨ヲ以テ取引スルトキハ利子ノ損失及ヒ其正貨ヲ遺失スルノ危険アルヲ悟リ已ニ數百年ニ於テ爲換手形ノ使用ヲ發明セリ爲換手形ハ負債ノ證券ニシテ恰モ代表貨幣ノ如ク彼我ノ間ニ轉讓シ大ニ交換ヲ補助スルモノナリ

第四節 手形及ヒ手形交換所

尙ホ右ノ外交換ノ媒介ヲ用ヒスシテ而カモ物品ノ交換ノ不便ヲ蒙ラス一層便利ナル方法アリ即チ常ニ賣買ノ取引ヲ爲ス人々ノ間ニ於テハ其買入レタル物品ニ對シテ貨幣ノ或ル高チ支拂ヒ其賣却シタル物品ニ對シテ又貨幣ヲ受取ルカ如キハ極メテ煩シキ方法ナルカ故ニ其交換シタル物品ノ價格ヲ貨幣ニ見積リ二者ノ間ニ差アレハ正貨ニテ之ヲ支拂フコトノ便利ナルヲ悟レリ是ニ於テ其人ニ取リテ目下必要ナラサル貨幣ハ之ヲ金匠若クハ銀行ニ預ケ置キ其取引ヲ爲ス人々ハ其相互ノ取引ニ於テハ全ク貨幣ノ受授ヲ爲サス只銀行ノ帳簿ノ

記入法ニ依リテ取引ヲ勘定スルコトヲ得而シテ多クノ銀行ノ間ニ於テモ亦之ト均シキ方法ヲ以テ相互ノ勘定ヲ整理スルニトヲ得ルナリ此ノ如クニシテ終ニ手形交換所ト稱スル一ノ大ナル仕組構成セラレ總テ内國ニ於ケル巨額ノ取引ハ只帳簿ノ記入ニ依リテ整理セラル、コトヲ得ルナリ手形交換所ハ諸國ニ於テ發達シタルモ誠ニ英國ニ於テハ倫敦其金融ノ中心トナリタルノミナラス又總テノ國際間ノ巨額ノ取引ニ關シテハ全世界ノ金融ノ中心トナルノ勢アリテ倫敦ハ實ニ國際手形交換所ノ所在地トナラントセリ

第十六章 代表貨幣

第一節 總論

現今ニ於テハ代表貨幣ヲ製スルニハ遺例紙ヲ以テスルカ如キ感アリト雖モ尙ホ古來ノ歴史ニ徴スレハ其他ノ種々ノ物品ヲ以テ代表貨幣ト爲シタルコトヲ知ルヘシ補助貨ノ如キモ亦多少代表貨幣ノ性質ヲ有スルナリ何トナレハ其有スル所ノ價格ハ其含有セル金屬ニ依リテ生スルモノニアラスシテ本位貨ト交

換スルト云フニアリテ存スルモノナレハナリ英國ニ於テハ女王エリサベスノ時ニ至ルマテハ通貨ノ價格ヲ低落スルコトヲ厭ヒ政府ハ銅貨ノ如キ劣等ノ貨幣ヲ發行セサリシ代ハリ商賈ハ鉛若クハ皮ヲ以テ補助貨ヲ造リ其間ニ通用セリ又十八世紀ノ頃ニ至リテモ銅ノ補助貨多ク行ハレ多クハ其表面ニ雕刻シタル字畫ヲ以テ支拂ノ約束狀ナルコトヲ表示セリ現世紀ニ於テモニュー・サウス・ウェールズニ於テ小貨幣ノ缺乏ヲ告ケタルトキ同地ノ商賈ハ銅若クハ青銅ノ補助貨ヲ發行シテ流通セシメカ千八百七十年以來其流通ヲ禁止セラレタリ

古代ノ人民モ本位貨幣ト補助貨幣ノ差違ヲ明カニ承知セリ夫ノ「ラセチーモン」ノ鐵貨ハ其重量及ヒ形體大ニシテ而カモ其價格ノ少ナキヲ以テ見レハ本位貨幣ナリシカ如シ又「パイサンチン」ノ鐵貨ハ之ニ反シテ補助貨ナリシコト明カナリ

第二節 代表貨幣ノ沿革

太古ノ人民ハ紙幣ヲ使用セサリシ是全ク紙ノ製造ヲ知ラサリシニ依ルモノニ

シテ決シテ代表貨幣使用ノ方法ヲ知ラサリシニ依リテ然リシモノニアラス交換ノ媒介トシテ使用セラレタル最古ノ貨物ハ獸皮ナリシコトハ已ニ前述シタル所ナルカ代表貨幣ニ至リテモ其始メテ使用セラレタルモノハ獸皮ノ小片ニシテ通常之ニ官印ヲ押附シタリ獸皮ハ其形體大ニ過キ携帯ニ不便ナルヲ以テ其全皮ハ或ル場所ニ貯藏シ置キ其小片ヲ切り受ケ之ヲ全皮ノ代表物トシテ授セリ其小片ヲ有スルモノハ之ヲ全皮ノ切レ目ニ合セ其符合スルヲ以テ其所_ニ至リタルトキハ其代表ノ性質ヲ有スルモノタルコトヲ忘レ政府若クハ其他ノ預ケ人ニ於テ其全皮ヲ使用シ去リタル後ト雖モ尙ホ引續キテ流通シタリ露西亞ニ於テ久シク皮幣ノ行ハレタル狀情ハ右ノ如クナリシコト疑ナシ羅馬ニ於テヌーマ王ノ時代ニ至ルマテ皮幣行ハレタルコトハ口碑ノ傳フル所ナルモ其性質如何ナルモノナリシヤ明瞭ナラス又カイセイザノ人民モ代表貨幣トシテ皮幣ヲ用ヒタルコトハイースキチスノ著書ニ依リテ之ヲ知ルコトヲ得此貨幣ハ自國ニ限リテ近隣ノ國々ニ於テ通用セサリシヲ以テ之ヲ見レハ全ク名目

上ノ價格ノミチ有シタル代表貨幣タリシヤ疑フヘカラス
 然レトモ代表貨幣ノ使用古代ニアリテ最モ完全ニ發達シタルハ支那ニ在リ西
 曆紀元前百年頃漢ノ武帝匈奴ト戰キ財用缺乏ヲ告ケタルトキ禁園ノ白鹿
 ノ皮ヲ剝キ之ヲ以テ代表貨幣ヲ製シタルコトアリ而シテ皇帝獨リ此造幣ノ權
 ナ專有シタルヲ以テ高價ニテ之ヲ發行セリ已ニ十四世紀ノ頃支那ニ於テハ紙
 幣ノ通用行ハレ明ノ世ニ至リ大ニ之ヲ濫發シテ弊害ヲ釀成セリ
 又其他ノ亞細亞ノ人民ニテ韃靼人及ヒ波斯人ノ如キモ紙幣ノ使用法ヲ理解シ
 タルモノナルカ如シ

第三節 代表貨幣ヲ使用スルノ理由

代表貨幣ヲ使用スルノ理由ヲ精細ニ分析説明スルコトハ頗ル重要ナルコトナ
 リ而シテ其理由ヲ尋ヌルニ固ヨリ一ニシテ足ラス歐洲ニ於テ銀行紙幣ヲ使用
 シ始メタル起源ハ今ヲ去ルコト四百年乃至七百年代ニ於テ伊太里ニ設立セラ
 レタル預金銀行ニ於テ之ヲ見ルヘシ當時伊太里ハ非常ニ貿易ノ盛ナリシ土地

ニシテ諸種ノ貨幣各國ヨリ混入シ磨滅シタルモノアリ削取ラレタルモノアリ
 ナ貨幣頗ル劣惡ニ流レタルヲ以テ之ヲ受授スルニ當リテモ商賈ハ逐一之ヲ秤
 量シ且ツ其純分ヲ審査セサルヘカラス從ヒテ其審査秤量ノ勞ハ勿論時間ノ損
 失及ヒ欺偽ノ恐レ少ナカラサチ是ニ於テ伊太里ノ商業都府ニ於テハ商賈ハ
 其金銀貨幣ヲ銀行ニ預ケ入レ其價格ヲ精密ニ計算シ之ヲ預ケ金トシ其預リ證
 書受取り置クヲ常トセリ其後アムスターダム及ヒハンブルヒノ銀行モ亦之ト
 均シキ方法ヲ以テ設立セラレタリ此ノ如クシテ銀行ニ預ケ入レタル貨幣ハ之
 ナ銀行貨幣ト稱ヘ之ヲ世上ニ流通スル貨幣ト交換スルニ當リテハ其通貨ノ平
 均磨滅ノ多少ニ依リテ打歩ヲ有セリ而シテ之ヲ以テ支拂ヲ爲サントスルトキ
 ハ支拂人ハ受取人ト共ニ銀行ニ到リ銀行ノ帳簿上ニ於テ支拂人ノ勘定ヨリ受
 取人ノ勘定ニ書入換テ爲サシメタルモノナリ

第四節 金属貨幣ノ不便

巨額ノ金銀ヲ取扱フノ煩勞ナルコト及ヒ危險ナルコトハ又代表貨幣ヲ用フル

ニ至ラシメタル一ノ原因ナリ蓋巨額ノ金屬貨幣ヲ安全ニ保持セント欲セハ堅
 牢ナル倉庫ヲ有シ且之ニ番人ヲ付シ置カサルヘカラス英國ニ於ケル銀行事業
 ノ起源ハ明カニ之ヲ知ルコト難シト雖モ恐ラクハ金銀ヲ安全ニ保持スルカ爲
 メナリシ如シ伊太里ニ於テハ數百年ノ間巧ニ整理セラレタル預金銀行存立
 シタルモ英國ニ於テハ漸ク倫敦塔アリテ此ノ如キ用ニ供セラレタルモノナル
 カ故ニ商賈ハ其所持金ヲ安全ナル保護ノ爲メニ此塔ニ貯藏シ置キタリ然ルニ
 千六百四十年チャールズ一世カ倫敦塔ニ於ケル貯藏金ノ内ヨリ三十萬磅ヲ借
 リ出シ自己ノ用ニ濫用シタルニ依リ人民ハ最早信用ヲ政府ニ措カサルニ至リ
 且商賈ハ騷擾ノ際ニ在リテ自己ノ家宅ニ巨額ノ貨幣ヲ所持スルノ危険ナル
 事知リ之ヲ金匠ニ預クルノ慣習ヲ養成セリ金匠ハ常ニ金銀ヲ取扱フモノナル
 カ故ニ貯藏ニ適スル倉庫ヲ所有シ商賈ヨリ金銀ノ若干額ヲ預リ之ニ對シテ受
 取證書ヲ與ヘタリ此受取證書ハ始メハ恰モ倉敷證文ノ如ク特別ノ約束證書ナ
 リシモ爾後此證書即チ金匠手形ト稱スルモノヲ以テ其預ケタル金銀ヲ讓リ渡
 スノ習慣行ハルニ至レリ終ニ其特別約定證券ナル性質ヲ離レテ寧ロ一般約

束證券トナリ其證券ヲ以テ何時ニテモ要求次第貨幣ノ若干高チ引渡ス所ノ約
 束書ト出レ

第五節 金屬貨幣ノ重量

金屬貨幣ノ重量大ナルコトモ亦巨額ノ取引ニ於テ代表證券ヲ使用スル一原因
 ナリ其合法貨幣ナルモノ愈重ク且大ニシテ運搬ニ不便ナルトキハ代表貨幣
 ヲ用フルノ必要ヲ感スルコト愈大ナリ左レハ嘗テパリチニヤ州ニ於テ十八
 世紀頃煙草ヲ以テ交換ノ媒介トナシタル時ノ如キハ之ヲ倉庫ニ藏メテ之ニ代
 フルニ受取證書ヲ用ヒテ取引セリ又露西亞ニ於テ千七百六十八年カサリト
 第三世ノ時銅貨ヲ合法貨幣トシテ使用スルニ當リテハ不便大ナリシヲ以テ紙
 幣ヲ發行シタリ然レ其紙幣ハ公衆ノ好シテ受授スル所トナレリ爲メニ其發行
 ノ當初ニ於テハ紙幣ハ銅貨ニ對シテ一衆ノ四分以テ之ノ打歩ヲ有セリ
 方今商業ノ隆盛ナル日ニ在リテハ金貨高價モ巨額ナル支拂ヲナスニ就テハ猶
 不便アルヲ免ヒテセリ

格ナ有スル金ヲ運搬スルニハ四十人ヲ要スト云々又倫敦ニ於テ手形交換所ノ取引ヲナス所ノ金額ハ一日ノ平均二千萬磅ニシテ之ヲ支拂フニ金貨ヲ以テスレハ凡ソ百五十七噸ノ重サヲ要シ八十四匹ノ馬ヲ以テスルニアラサレハ之ヲ運搬スル能ハス又銀貨ヲ以テスレハ其重量二千五百噸以上ニ上リ其運搬實ニ困難ナル可シト云ヘリ今英蘭銀行紙幣ノ重量ヲ衡ルニ一枚僅ニ二十「グレ」ニ過キスシテ之ヲソレレ「金貨」一箇ノ重量百二十三「グレ」ニ餘ニ比スレハ唯其六分ノ一ニ當ラヌ加之ナラス其紙幣一枚ニ五磅拾磅五拾磅千磅等ノ金額ヲ記載シ之ヲ以テソレレ「貨」ニ數倍スル金額ヲ表示スルコトヲ得ベキナリ

今若シ今日ノ取引ヲナスニ方リ交換ノ媒介トシテ眞ノ價格ヲ有スルモノヲ使用セサルヲ得ザルナラハ寶石其他金ニ比シテ一層高價ナル金屬ヲ採用セサル可カラス然ルニ幸ニシテ商業ノ發達セル國ニ於テハ代表貨幣使用盛ンニ行ハル、ヲ以テ金銀ハ單ニ少額ノ支拂ニ用キラル、ニ止マリ巨額ノ取引ニ於テハ紙幣ヲ以テ十分ノ用ニ供スルヲ得ルナリ

第六節 利子ヲ省クコト

高價ナル金銀ニ代ユルニ代表貨幣ヲ以テスレハ利子及ヒ資本ヲ省略スルコトヲ得ルハ是亦代表證券ヲ使用スル理由ノ一ナリ凡ソ一國ニ於テ財用ノ不足ヲ告クルニ當リ正貨ヲ借入ル、トキハ之ニ對シテ其利子ヲ拂ハサル可カラス然ルニ其償却ヲ後日ニ期シ假リニ代表貨幣ヲ發行スレハ利子ノ支拂ヲ要セス又在來ノ金銀ヲ流通ノ爲メニ使用スルトキハ利子ヲ生スルコトナキモ若シ之ヲ貸付或ハ營業等ニ用ヒ又ハ之ニ對シテ代表貨幣ヲ發行スレハ其全部若クハ一部分ハ之ヲ資本トシテ使用スルコトヲ得ルヲ以テ利子ヲ生スヘキナリ古代ノ希臘人ノ如キハ現今ノ英米人等ノ如ク能ク此理ヲ了解シタリシコト明カナリ

メイナニシヤスハシラッキースニ於テ錫貨幣ヲ發行シ之ニ四倍セル價格ノ銀貨ノ代ハリニ使用セシメタルコトアリ又アリストトトルノ著書ナリト云フ經濟論ニ掲クル所ニ依リハナゼン人ヲモセヤスハ戰爭ノ終ニ至リ銀貨ト交換センユトナ約シ銀貨ノ代ハリニ銅貨ヲ發行シテ兵士及ヒ商人ヲシテ之ヲ受取ラシ

メタルコトアリクテメニヤシ人モ全ク利子ヲ省クノ目的ヲ以テ補助貨ヲ發行シタルコトアリ即チ此人民ハ嘗テ其備兵ニ與フル所ノ給料二十士タレントヲ支拂フヲ得ス隨ヒテ年々四タレント又利子ヲ拂ハサルハカテサリシニヨリ鐵ヲ以テ代表貨幣ヲ製造シ之ニ二十士タレントノ名目價格ヲ付シ人民チシテ之ヲ銀貨ノ代ハリニ使用セシメ其得ル所メ銀貨ヲ以テ負債ヲ償却セリ此方法ニ依リ曩ニ利子ニ充テタル四タレントハ年々餘裕ヲ生シタルカ爲メ數年ヲ出テスシテ全ク代表貨幣引上クルコトヲ得テ又クエルンシ島ニ於テ市場ヲ建築シタルトキモ之ト等シキ方法ニ依リ殆ト費用ヲ要セスシテ之ヲ竣功セリ其故ハ本島ノ奉行官ニエレルブロック氏カセント、ピータースニ於テ一メ市場ヲ設キ有セザリシ故ニ一枚一磅ノ紙幣四百枚ヲ發行ケントスルニ當リ相當ノ資金ヲ之ニ島廳ノ印章ヲ付シ職工ノ支拂ニ充テタリ其後市場竣功シ貸付料等ヲ賦入シ得ルニ及ヒ之ヲ以テ在リ紙幣ヲ償却シ遂ニ一ポンスノ金ヲモ要セスシテ全ク此業ヲ終了スルヲ得タリキ此ノ如ク紙幣ヲ利用シテ恰モ正金銀ヲ用ユルト同様ノ仕事ヲナスヲ得ルハ別ニ怪ムヘキニアラス蓋紙幣ヲ發行スルトキ

ハ同額ノ金高ハ其流通以外ニ驅逐セラルルニキテ以テナラズ氏ハ要スルニ無利子ニテ同島ノ金屬貨幣中ヨリ四十萬磅ノ公債ヲ強制的ニ募集シタルト同一ノ結果ヲ得タルモノナリ總テ右ノ如ク發行紙幣ハ其高ノ償却ニ充テスニキ準備金額ニ超過スル莫ハ利子ヲ省略スルノ利益ナリ英蘭中紙幣ヲ發行スル所ノ私立及ヒ合本銀行ハ凡ソ六百五十萬磅ノ金高ニ對スル利子蘇蘭ノ銀行ハ二百七十萬磅ニ對スル利子愛蘭ノ銀行ハ六百萬磅餘ニ對スル利子ヲ得ルカ如ク實ニ紙幣ノ發行ハ大ニ利益アルモノナリ故ニ若シ其整理ノ方法宜シキヲ得ハ決シテ害ヲ生スルノ恐ナク其效益ヤ亦尠少ナラサルナリ

第十七章 約束手形ノ性質及ヒ種類

第一節 總論

約束手形ノ發行ヲ整理スルノ方法ヲ論ズルニ先タチ諸種ノ手形間ニ存スル區別ヲ明カニセザルベカラス凡ソ約束證券ヲ發行シテ其證券ト引替ニ一定ノ或ル物ヲ引渡スヘキ約束ヲナスモノハ左ノ三種中ニ於テ何レカ其一ニ屬スルモ

ノナリ

第一 請求セラル、マテ其物現物ヲ保存スルコトヲ約束スルコト

第二 約束手形ニ對シテ引渡スヘキ物品ヲ準備シ置クモ敢テ特定セル物品
ヲ以テセス只同量同質ノ物ヲ引渡スコトヲ約束スルコト

第三 約束手形ニ對シテ物品ノ要求アルトキニ其約束セル物品ノ到着スル
コトヲ豫期シ敢テ豫メ之ヲ準備シ置カサルコト

即チ是ナリ

第二節 特別預證券

約束證券ノ最モ簡便ナルモノハ右第一種ノモノニシテ之ヲ稱シテ特別預證券
ト云フ乃チ特別ナル物品ノ引渡ヲ約束スルモノニシテ船積證書質物手形倉敷
證文等ノ類是ナリ船積證書ハ其所持人ナシテ證書ノ表面ニ記載セル徽號箇數
大小等ヲ以テ差示シタル物品ヲ受取ルノ權利ヲ得セシムルモノナリ而シテ此
證書ニ關印セタル船長ハ證書ト引換ニ物品ヲ交付スルニ至ルマテハ常ニ其寄

託セラレタル現物ヲ保存スルコトヲ要スルモノナリ倉敷證文モ亦同一ノ性質
ヲ有スルモノニシテ或ル倉庫ニ預入レタル物品ニ對スル請取證ニシテ之ヲ所
持スルモノハ其表面ニ記載シアル物品ヲ請取ルコトヲ得而シテ此等ノ物品ノ
所有權ハ其證券ニ裏書若クハ他ノ手續ヲ加ヘテ之ヲ移轉シ得ヘキニヨリ特別
預證券ハ常ニ物品ヲ代表シ現ニ預入レラレタル物品ノ員數以外ニ之ヲ發行ス
ルヲ得サルモノナリ乃チ證券發行者ハ純然タル物品受託者ノ職ヲ盡サ、ルヘ
カラスシテ證券ト引換ニ物品ヲ引渡スニ至ルマテハ其預リタル物品ハ決シテ
之ヲ手離スコト能ハサルモノナリ

第三節 一般預證券

第二種ノ證券ハ即チ證券發行者カ或ル特別ナル物品ヲ渡スコトヲ約セス只證
券ニ記載シアルモノト同量同質ノ物品ヲ渡スコトヲ約スルモノニシテ之ヲ稱
シテ一般預證券ト云フ通常ノ場合ニ於テハ物品ノ性質殆ト同シクシテ敢テ其
預入レタル特別ノ部分ヲ交付スルノ必要ナク何レノ部分ヲ以テスルモ不可ナ

キモノナリ例ハ以前ダラスゴノ鐵商カ地鐵ヲ受取ル時ニ同種類ノ鐵ニ就
 テハ少シモ見ルヘキ差異ナキ故ニ別ニ其預ケ人ニ依リテ其引渡スヘキ鐵ニ
 區別ヲ立テス只其總預高ト總預證券ト平均セシムルコトヲ勉メ預證券ニ對シ
 テ物品ヲ引渡スニ差支ナキ様ニナシタラ然レトモ稍近時ニ至リテハ其預リ
 ル鐵ナ其證券ニ對シテ各別ニ仕譯ク置クコト、ナレリ此二方法ノ間ニ於ケル
 差違ハ些々タルカ如キモ實際極メテ重要ナルモノニシテ第一ノ方法ニ依レハ
 預リ品ヲ濫用シ契約ヲ疎ニスルノ患アリ

第四節 特別預證券ト一般預證券トノ差異

此兩者ノ間ニ著シキ差異アルハ明カナリ特別預ノ約束ヲナス人ハ特別ノ證券
 ニ對シテ特別ノ物品ヲ渡スモノナルニヨリ其現品ヲ手許ニ有スルコトナラシ
 テ此ノ如キ證券ヲ發行スルヲ得ス若シ之ヲ發行スレハ詐欺ヲ以テ罰セラレ
 然レトモ一般預ニ於テハ其證券引替ニ應ズルニ當リ相當ノ性質ヲ有スル物
 品ナレバ其何レノ部分ヲ以テスルモ不可ナキカ故ニ物品ニ在テハ高ク多クノ證

券ヲ發行スルモ容易ニ之ヲ看破スルヲ得ス故ニ妄リニ證券ヲ發行シテ投機ヲ
 試ムルコト起リ易ク預リ人ハ其預リタル物品ニ付一時金額引渡ノ請求ヲ受ル
 コトナキニ乘シ其預リ品ノ大部賣買ニ使用シ只小部分ヲ手許ニ備置キ日常引
 渡ノ用ニ供スルコト數々之アリ而シテ其預リ人カ發行スル約束證券ニ應シテ
 差支ナク物品ヲ引渡スコトノ出來ル限リハ少シモ害ナキカ如クナルモノ之ヲ實
 際ノ經驗ニ徴スルニ其證券ヲ濫用シテ終ニ約束ヲ履行スルコト能ハサルニ至
 ルモノ少シトセサルナリ
 加之ナラス預リ人カ實際ノ預リ高ヨリ多額ニ預證券ヲ作り公衆ヲシテ物品供
 給ノ多キヲ信セシムルコト亦難カラス蓋約束證券ヲ所持スルモノハ之ヲ以テ
 券面ニ記載シアル物品ト同一ニ看做スモノナルカ故ニ預リ人ハ實際ノ預リ高
 ナキモ空ニ證券ヲ發行シテ之ヲ賣却シ後日之ト引替ニ物品ヲ引渡スヘキ約束
 シ而シテ其約束ヲ履行スルノ日ニ至ラハ該物品ノ市價下落スヘキナ期スルコ
 トヲ得ルナリ例ハ鐵ノ預リ人カ其倉庫中ノ在高ニ拘ハラズ預證券ヲ類リニ
 發行シ他日現物ヲ引渡スヘキ約束ヲ以テ巨額ノ鐵ヲ賣却シ未タ之カ引渡ナ

サ、ルニ先チ其物品ノ市價ヲ俄然且烈シク下落セシメ之ニ乘シテ漸次ニ買込置キ之ヲ以テ證券ニ應スル引渡ノ用ニ供シ其現物ノ價ト證券ノ價トノ差ヲ以テ利ヲ射ルカ如キ是也

如此投機ノ業ハ種種ノ物品ニ付之ヲ試ムルヲ得ヘクシテ會社ノ株券ノ如キ亦此奸計ニ陥ルコト往々之アリ曾テ英國ニ於テ或奸商カ徒黨ヲ結ヒ或銀行ノ株券ヲ空ニ賣出シ其銀行ノ名譽ヲ害シ從ツテ其株券ノ下落ヲ待チ急ニ之ヲ賣込マンコトヲ謀リシコトアリ此ノ有害ナル一種ノ投機ハ千八百六十七年ヴィクトリヤ女王第三十年ノ法律ヲ以テ之ヲ防遏セリ此法律ハ總テ銀行株券ヲ賣却スルモノヲシテ他日ノ引渡ヲ期シテ之ヲ賣却スルニ當リテハ其株券ノ號數及持主ノ姓名ヲ特記スルコトヲ命シタリキ

凡ツ約束チナスノ權利ハ各人ノ有スル天賦ノ權利ニシテ斯ル約束ニ依リテ利益ヲ得ルハ差支ナシトノ論アリ成程他日正貨引渡ノ約束ヲ以テ手形ヲ受取リ又ハ他日到着スヘキ綿米等ノ類ヲ引渡スヘキヲ契約スルハ通常見ル所ナルカ故ニ上ニ述ベタルカ如キ契約チナスハ自由ナルヘキカ如シト雖モ苟モ社會全

體ニ害ヲ醸生スルノ恐アルモノハ之ヲ制限セサルヘカラス蓋法律ヲ以テ契約チナスノ權利ヲ承認スルノ理由モ畢竟其權利ハ社會ニ取リ利益アルヲ以テナリ故ニ若シ特別ナル方法ヲ以テ約束證券ヲ作り之ヲ賣買スルノ自由ヲ與フルノ結果トシテ不正ナル投機ヲ起スノ憂アルカ若シクハ左ナクトモ社會ヲ利スルヨリハ寧ロ之ヲ害スルノ甚シタキモノアルニ於テハ法律ハ此理由ヲ拘束シテ須ラク社會全般ノ利益ノ爲メニ事ヲ處理セサルヘカラサルヤ疑ヲ容レサルナリ

第五節 貨幣約束證券

以上説キシ所チ貨幣ニ適用スルトキハ貨幣ノ約束手形ハ概テ常ニ一般預リノ性質ヲ有スルモノニシテ貨幣ノ在高チ他日支拂フヘキ約束チナス人ハ或特別ナル貨幣ヲ以テ其支拂ニ宛ツルコトハ希ナリ今貨幣條例ニ依レハ凡規則ニ從ヒテ製造サレタル相當ノ重量ヲ有スル貨幣ハ之ヲ合法貨幣ト稱シ何レノ支拂ニモ使用スヘキモノトスル故ニ貨幣ニ關スル約束ハ只期限ノ來ルトキニ合法

貨幣ヲ以テ支拂ヘハ事了ハレルモノニシテ決シテ特ニ某々ノ貨幣ヲ以テ支拂フヘシト云フニアラス然レハ銀行ノ預金ノ如キモノハ彼ノ倉庫ニ預入レタル物品ト等シク金銀地金若シクハ其國又ハ外國ノ貨幣ニ外ナラスト雖モ銀行證券ハ倉敷證文ト同一ノモノニアラス倉敷證文及船積證書ノ如キハ特別預リナルモ銀行預證券ハ一般預リニシテ決シテ格別ノ支拂ニ充ツ可キ貨幣ヲ特定シ置クモノニアラス若シ銀行ニシテ其花主ノ預ケタル貨幣ヲ小切手ヲ以テ引出サル、ニ至ルマテ常ニ備ヘ置クヲ要スルトキハ銀行ハ何ノ利益モナク又花主ニ於テモ斯ル特別ノ引替ヲ望ムノ必要ナカルヘシ然レトモ銀行カ時トシテハ保護預又ハ質物トシテ或ル貨幣ヲ受クルコトアリ此場合ニ於テハ特別預ニシテ其預入ラレタル現物ヲ引渡サ、ルヘカラス

今若シ貨幣ノ約束證券カ特別證券ナリトセンカ發行者カ倉庫管理人タルノ職務ヲ勉メ各證券ニ對シテ特別ナル貨幣ヲ常ニ準備シ置カサルヘカラサルカ故ニ其約束證券ノ發行ヲ自由ニ放任スルモ更ニ弊害ノ生スルコトナカルヘシ然レトモ實際ニ於テハ決シテ然ラス貨幣約束證券ハ皆一般約束ナルカ故ニ非常

ノ増發ヲ來シテ大ナル弊害ヲ醸スノ憂アルモノナリ

第六節 代表貨幣流通ノ原理

既ニ第八章ニ於テ金屬貨幣ヲ受授スルニ付キ各人ノ意思ヲ分析シテ流通上ノ原理ヲ説明シ慣習ノ勢力及「グレシヤム」ノ法則ヲ研究セシカ右ノ原理ハ亦金屬貨幣ト紙幣トカ並行セラル、場合ニ於テモ等シク適用シ得ラル、モノナリ先ツ彼ノ慣習ナルモノハ金屬貨幣ノ使用ニ關シ勢力アルカ如ク代表貨幣ノ使用ヲ維持スルニ就テモ亦大ナル勢力アリ蓋唯紙片ヲ使用シテ少シモ損失ヲ受ケ來ラサリシ人々ハ其紙片ノ信用ヲ落スヘキ事情ニ遭遇スルニ至ルマテハ之ヲ以テ善良ナル貨幣ト見做シ却テ粗惡ナル紙幣ヲ以テ美麗ナル金屬ヨリ愈レリトナスコトアルヘシスコットランドノ「ルウエー」ノ通貨制度ヲ見ルモ此ノ虛ナラサルヲ知ルヘシノ「ルウエー」ニ於テハ千八百七十四年ニ至ルマテハ金貨ハ少シモ流通セスシテ一弗五弗若シクハ十弗ノ紙幣カ主要ナル通貨トシテ流通セ

代表貨幣ハ此ノ如ク正貨ト等シク流通スルコトヲ得ルモ茲ニ二者ノ間ニ著シキ差異アルヲ知ラサル可カラズ乃チ代表貨幣ハ其法律上通用シ若シクハ習慣ニ依リ流通スル所ノ一國若シクハ一地方ノ境域外ニ於テ流通スルコト能ハサルコト是ナリ彼ノ英蘭銀行紙幣ノ如キチ旅行者カ屢之ヲ海外ニ携帶シテ到處ニ於テ容易ニ其土地ノ通貨ト交換セラル、コトアルモ該紙幣ハ決シテ貨幣トシテ流通スルニアラスシテ全ク倫敦宛ノ手形トシテ取扱ハル、ニ過キス故ニ之ヲ以テ英國ヨリ他國ニ對スル負債ヲ辨償シ了ハルコトヲ得ルモノニアラスシテ却テ負債ヲ作為シ巴里ノ銀行家ノ手ニ在ル英蘭銀行券ハ畢竟該銀行家カ英蘭銀行ニ對シテ有スル權利ヲ表示スルモノトナルナリ外國商人ニ拂フヘキ負債償却ノ爲ニ實際輸出セラル、ヲ得ル所ノ貨幣ハ本位金屬貨幣ヲ措クノ外他ニ之アラズ去レハ紙幣ハ本位貨幣ヲ驅逐スルノ力ヲ有スルコト猶彼ノ輕重ニシテ劣惡ナル鑄造貨幣ニ異ナルコトナシ殊ニ不換紙幣ノ場合ニ於テハ此事タル最モ明瞭ニ之ヲ見ルヲ得ヘシ不換紙幣ノ發行高漸次加ハルトキハ一國ノ通貨多キニ過ルニ至ルヲ以テ鑄造貨幣ハ勢輸出セラレサルヲ得ス此ノ如クシ

テ若シ正貨甚シク流出スルニ及ヒテハ外國ノ支拂ヲナスカ爲ニ正貨ノ必要ヲ感スルニ至リ隨ツテ紙幣ハ是迄同一ノ價格アリト認めラレタル正貨ニ比シテ其價格ヲ落スニ至ルモノナリ是ニ於テカ多數人民ハ正貨ヲ貯存スルノ利益アルヲ察シ容易ニ之ヲ手放サス爲メニ幾何モナクシテ世間ニ流通スルモノハ獨リ紙幣ノミトナルヘシ此ノ如ク紙幣カ正貨ヲ流通以外ニ驅逐スルコトハ再三再四諸國ノ實驗セル所ニシテ佛國革命時代ノ「アツシニヤ」紙幣千七百九十七年ヨリ千八百十九年ニ至ルノ間英蘭銀行ニ於テ正貨ノ兌換ヲ停止シタルカ如キ米國南北戰爭ノ際ノ如キ皆能ク之ヲ證示スルモノナリ又最モ輓近ニシテ最モ顯著ナル適例ハ之ヲ伊太利ニ就テ見ルヲ得ヘシ伊太利ニ於テハ千八百六十二年ヨリ千八百六十五年ニ至ルノ間美麗ナル金銀貨ヲ巨額ニ發行セシガ忽ニシテ紙幣ノ強制力ノ爲ニ驅逐セララル、ニ至レリ

第十八章 紙幣發行ノ方法

吾人ハ之ヨリ紙幣ノ發行ヲ調理スル種々ノ方法ヲ考察セントス此問題ハ恐ラ

ク經濟學ノ全範圍内ニ於テ最モ困難ニシテ最モ議論アルモノナルヘシ然レトモ若シ事實ノ分析ヲ強メ貨幣發行ノ原則ニ準據セハ庶幾クハ紛亂ノ中ヨリ身ヲ脱スルヲ得ヘキ歟

凡ソ貨幣ノ發行ハ政府自ラ之ヲ掌ルカ若シクハ之ヲ私人ニ放任スルカ若シクハ半官半民ノ會社ニ委テ多少ノ制限ヲ付シテ發行セシムルコトヲ得ヘシ此ノ如ク貨幣ノ發行ハ官民孰レカ之ヲナスヘキヤノ得失ハ姑ク措キ先孰レニモセヨ能ク紙幣發行ノ額ヲ整理シ約束ノ履行ヲ確ムルヲ得ヘキ數種ノ方法ヲ列舉セシ

第一 全額金銀準備法 紙幣發行者ハ紙幣發行額ト同額ノ金銀ヲ常ニ準備スルコトヲ要スル方法

第二 分類金銀準備法 紙幣發行額ト同額ノ金銀ヲ貯存スルヲ要セスシテ其内一定ノ額ヲ限リ公債證書其他確實ナル有利證券ヲ備ヘ置クヲ得ル方法

第三 最少額準備法 紙幣發行者ハ何時タリトモ必ス正貨及地金ノ一定ノ

最少額ヲ有セサルヘカラサル方法

第四 比例準備法 紙幣發行額ニ比シテ準備ヲ置クノ方法例ヘハ發行額ノ三分ノ一若シクハ四分ノ一ニ當ル準備ヲ置クヲ要スルナリ

第五 最多額發行法 發行最多額ヲ定メ之ニ超過スル額ヲ發行スルトキハ處罰スルノ方法(處罰ハ多ク之ニ對スル利子ヲ徵ス以下皆同シ)

第六 伸縮制限法 前法ノ如ク發行額ニ制限ヲ置キ之ニ超過シタル紙幣額ニ對スル罰ヲ故ラニ輕クシ非常ノ場合ニ於テハ發行者ヲシテ其罰ヲ犯シテ發行スルヲ得セシムル方法

第七 證券準備法 準備ハ正貨若シクハ地金ニアラスシテ公債證書株券若シクハ其他ノ證券ヲ以テスルノ方法

第八 不動産準備法 土地家屋船舶鐵道等ヲ以テ準備トナシ得ル方法

第九 外國爲換法 外國爲換我ニ逆ラヒ正貨ノ輸出ヲ有利ナラシムル間ハ紙幣ノ流通額ヲ増加セシメサルノ約束ヲ以テ或大銀行ヲシテ兌換紙幣ヲ發行セシムルノ方法

第十 自由發行法 一般商業上ノ契約ニ關スル法律ヲ以テスルノ外毫モ制限ヲ設ケズシテ紙幣發行ノ業ヲ各人ノ自由競争ニ放任スルノ方法

第十一 金紙平均法 金貨ト紙幣トノ間ニ差ヲ生セサル間ハ自由ニ紙幣ヲ發行セシメ若シ金貨カ打歩ヲ有スルニ至レハ發行ヲ停止シ以テ紙幣ノ價格ヲシテ其代表スル正貨ト均一ナラシムルノ方法

第十二 租稅支拂法 不換紙幣ヲ自由ニ發行スルモ之ヲ租稅支拂ノ爲ニ正貨ノ代リニ使用セシメテ其價格ヲ維持スルノ方法

第十三 後日兌換約束法 後日ニ至リ正貨引換ノ約束ヲ以テ紙幣ヲ發行シテ或ハ或期日ニ或ハ或政治上ノ或事件ノ後ニ兌換セントスルノ方法

第十四 不換紙幣法 發行シタル紙幣ハ約束手形ノ外形ヲ有スルモ或ハ習慣ノ力ニ依リ或ハ國王ノ命令ニ依リ或ハ他ニ使用スヘキ貨幣ナキニヨリ全ク其約束ノ履行ヲ免レテ通用スルノ方法

以上紙幣ノ發行ヲ整理スル方法十四ヲ列舉シタル尙此他ニ方法ナシトセス乃チ約束ノ履行ヲ確メンカ爲メ又ハ其履行ヲ不必要トナサンカ爲メ無數ノ方法

ナキヲ得ス加之此等ノ方法ヲ結合シテ種種ノ方法ヲ組成シ得ヘキナリ例ヘハ準備ノ一部分ハ正貨ヲ以テシ一部分ハ證券又ハ不動産ヲ以テスルカ如キ或ハ銀行家ニ或定額マテハ無準備ニテ發行スルヲ許ルシ其余ハ全額金銀準備法ヲ以テセシムルカ如キ或ハ金紙平均法ト外國爲換法ヲ併セテ發行ヲ調理スルカ如キ等是ナリ然レトモ盡ク此等無數ノ方法ヲ説キ逐一其利害得失ヲ論究シ能ハサルヲ以テ之ヨリ專ラ上述ノ十四方法ニ就キ論述セントス

第一節 全額金銀準備法

此方法ハ昔時伊太利共和國ニ於ケル預金銀行並ニアムスターダム及ハンベルヒノ銀行等ニ於テ用サレ又倫敦ノ金鍛冶保護預リトシテ公衆ノ金銀ヲ預リシトキニ此方法ヲ行サタリ此方法ニ依リ發行セラレタル紙幣ハ彼ノ倉敷證文及質物手形ト異ナル所ナク代表ノ性質ヲ有スルモノニシテ其紙幣ニ對シテ必スヤ現物ヲ保存シ置カサルヲ得ス乃チ紙幣ノ高ト金銀ノ準備高ト全ク同額ナルヲ要シ紙幣ヲ發行スルニ當リテハ之ト同額ノ正金ハ銀行ノ庫中ニ存セサル

ハカラサルカ故ニ此方法ヲ以テスレハ紙幣カ正貨ヲ驅逐スルノ恐ナシ然レトモ其利益ヤ甚々僅少ニシテ以テ漸ク正貨ノ磨滅ヲ避ケ且之ヲ運搬スルノ煩勞及危險ヲ省クニ過キス而シテ常ニ發行高ダケノ準備ヲ要スルヲ以テ社會ハ其高ニ對スル利子ヲ失フヲ免レス且又正貨ハ之ヲ銀行若シクハ政府等ニ預ク置シヨリハ之ヲ各人ノ手ニアラシムルヲ安全トス何トナレハ正貨ニシテ徒ニ貯藏セラレ全ク使用セラレサルトキハ其預リ人ハ之ヲ使用セントスルノ念起リテ爲ニ之ヲ妄用スルノ弊害生スヘキモノナレハナリ彼ノチヤールス一世カ倫敦銀行ニアリシ金銀ヲ掠奪シタルカ如キ例アルノミナラス尙銀行ニ於テスラ其預金ヲ濫用シタルコトアリ千七百九十五年佛國人和蘭ニ侵入シ「アムスタールダム」銀行ヲ捜査セシニ其銀行ノ準備金ハ總テ和蘭ノ東印度會社ニ貸附ケタリシコトヲ發見セリ又魯西亞政府ハ嘗テ銀行ノ準備金ヲセントピール「スブルグ」ノ城上ニ貯藏シ置キ取引所ノ役員ヲシテ監視セシメタリシカ千八百四十八年ニ之ヲ濫用セシモノアリシヨリシテ終ニ政府ハ自ラ之ヲ監視セサルヲ得サルニ至レリ又英國政府ハ千七百九十七年ニ於テ財政困難ニ際シ英蘭銀行紙幣

ノ兌換ヲ停止シ其準備金ヲ使用シタルコトアリ

第一節 分額金銀準備法

千八百四十四年英國銀行條例ニ依リ制定セラレタル英蘭銀行紙幣發行法ハ分額金銀準備法ニシテ乃チ千五百萬磅迄ハ正貨準備ヲ置クヲ要セサルモ其餘ハ各五磅紙幣ニ付發行部ハ六百十六「グレイン」三七ノ重サアル金ヲ準備セサルヘカラス而シテ其一千五百磅ハ種種ノ證券及政府ニ對スル無利息ノ貸付金十一萬磅ヲ以テ準備ニ充ツルモノトス此法ニ依レハ全額金銀準備法ノ如ク發行ノ確實ナルコト及正貨ノ磨損セサル等ノ利益アルノミナラス尙又社會ハ毎年右ノ千五百萬磅ニ對スル利子凡四十四萬五千磅ヲ利スルヲ得ルモノナリ此ノ如キ利益アルヲ以テ此法ハ毫モ間然スヘキナキカ如シト雖モ其能ク社會ノ信用ヲ補助スルノ點ニ至リテハ未タ以テ十分ナリトナスコト能ハス蓋此方法ハ恐慌ニ際シ金融壅塞シ貨幣ノ需要大ナルノ日ニ當リテ能ク其紙幣ヲ増發シテ時ノ急ニ應スルコトヲ得ス却テ益々信用ヲ破壊シ恐慌ヲシテ一層劇烈ナラシム

貨幣論

ルノ害アリ然レハ英國ニ於テハ現ニ千八百四十七年千八百五十七年及千八百六十六年ノ恐慌ノ起リタルトキ該銀行條例ヲ停止シ英蘭銀行ヲシテ充分ニ紙幣ヲ發行セシメ以テ僅ニ市場ノ動亂ヲ鎮定スルコトヲ得タリ若シ斯ル嚴刻ナル檢束ナク必要ノ場合ニ於テハ紙幣増發ヲ許スコトアリシナラハ此條例停止ノ如キ窮策ニ出ルニ及ハサリシナルヘシ是ニ由リテ之ヲ觀レハ此方法ハ未ダ最良ノ方法ナリト云フヲ得ス更ニ之ヨリ一層進歩シテ巧ニ紙幣發行ヲ屈伸スルヲ得ルモノハ獨逸銀行紙幣發行法則ヲ伸縮制限法ト稱スルモノ是ナリ

第三節 最少額準備法

此方法ハ準備ノ最少額ヲ定メテ紙幣發行者ヲシテ常ニ之ヨリ少カラサル正貨ヲ貯藏セシムルノ方法ナリ此ノ如ク常ニ若干ノ最少額ヲ倉庫中ニ貯藏スルノ事タル金融逼迫ノ日ニ方リ請求ニ應シテ正貨ヲ拂出スコトヲ得サラシムルモノニシテ乃チ金融壅塞ニ正貨ノ取付甚シキ時ニ於テハ立法府若クハ行政府カ法律ヲ縱マニ停止スルニアラサレハ此方法ヲシテ効能アラシムルコト能ハサ

第四節 比例準備法

此方法ハ紙幣發行高ノ若干ノ比例例ハ三分ノ一若クハ四分ノ一ヨリ少カラサル正貨準備ヲ貯存スルヲ要スルモノニシテ則チ合衆國ニ於テ國立銀行紙幣ヲ發行スルニツキ用サタルモノ是ナリ此方法ハ常ニ多少ノ準備ヲ貯存セシムルモノナルヲ以テ全ク各發行者ノ隨意ニ放任シテ毫モ制限ヲ加ヘサルモノニ比スレハ固ヨリ勝レルモノニシテ銀行家ハ其ノ準備額カ法定ノ制限額ニ觸ルハ恐レテ法律ニ背カサル様ニ警戒スルノ効アルヘシ然レトモ商業及信用上ノ不穩ノ狀アリテ爲ニ紙幣ノ兌換ヲ請求スルモノ多キヲ加フルニ至リテハ其準備ノ減少スル割合ハ發行高ノ減少スル割合ヨリ多ク爲ニ動モスレハ其法定ノ比例ヲ失シ又兌換ノ請求ニ應スルコト能ハサルニ至ルヘシ例ハ茲ニ十萬圓ノ發行紙幣アリテ之ニ對シテ四萬圓ノ準備アル場合ニ於テ二萬圓ノ兌換ノ請求アルトキハ其發行紙幣高ハ減シテ八萬圓トナリ準備三萬圓トナルベシ而

シテ若シ法律ノ所要スル準備ハ發行高ノ四分ノ一トスレハ此ノ餘ノ紙幣ハ一枚モ之ヲ兌換スルコト能ハサルヘシ故ニ若シ銀行ノ準備カ減少シテ法定ノ割合ニ達スルトキハ最早銀行ハ其準備ヲ使用スルコトヲ得テ法律ヲ犯スニアラサレハ少シモ兌換ニ應ズルコト能ハサルヘシ然レハ此方法ハ此ノ如キ場合ニ臨ミテハ恰モ前述ノ最少額準備法ト異ナル所ナク能ク信用ヲ擴張シテ一時ノ急ヲ救フコト能ハサルモノナリ實ニ此方法ハ銀行ヲシテ其準備ヲ使用スルノ最モ必要ナルニ際シテ之ヲ使用スルコト能ハサラシムルモノナリ此ノ如ク徒ラニ準備ヲ死藏シテ世ノ恐慌ヲ救フ能ハサラシメタリシハ現ニ千八百七十三年ニ於テ合衆國ノ實驗シタル所ナリ

第五節 發行最高多額制限法

一銀行若シクハ數銀行ヲシテ豫メ發行高ヲ定メシメ其額以内ニ紙幣ヲ發行セシムルヲ許ス方法ハ全ク經濟ノ原理ニ適スルモノ、如シ蓋此法ハ貨幣ノ一部分ニ對シ利子ヲ省約シ且便利ナル通貨ヲ供給スルノミナラス此法ニ依リ發行

セラレタル紙幣ハ其高定マリタルニヨリ妄ニ金銀ヲ外國ニ驅逐スル能ハサルノ利アルモノナリイングリズ、バルグレーヴ氏及其他二三ノ人々ハ此方法ヲ攻撃シテ右ノ制限ハ全ク不當ニシテ人民ヲシテ貨幣ノ不足ヲ感セシムルモノナリト論スルモ此法ニ依リ制限スル所ハ貨幣ノ額ニアラスシテ其代表物タル紙幣ノ額ナルカ故ニ貨幣ヲ要スルコト多キトキハ金銀ヲ増加スレハ足レルモノニシテ右諸氏ノ云フカ如キ憂アルモノニアラス殊ニ此方法ハ紙幣發行額ヲ制限スルカ故ニ利子ヲ省約スルコト甚タ大ナルヲ得サルモ徒ニ金銀多キカ如キ感アリテ爲ニ正貨ヲ驅逐スル危險ナキノ利益アリ此方法ハ英國ニ於ケル百七十ノ銀行ノ發行法ニシテサロバートビル氏カ千八百四十四年ノ銀行條例ヲ制定スルニ方リ其際既ニ紙幣ヲ發行シタル所ノ銀行ニ許スニ其以前十二週間ノ發行平均高ヲ以テ之ニ對シテ準備ヲ置クヲ要セサルモノトシ其所定ノ發行額超過スルトキハ平均毎月ノ超過額ニ相當スル罰金ヲ課スルモノトセリ此方法ハ此ノ如ク稍鞏固ナルモノナレトモ其紙幣發行高ニ制限アルカ爲ニ世ノ信用紊亂スルニ際シ十分ニ自己ノ信用ヲ利用シテ以テ市場ノ急ヲ救フ能ハ

サルノ不便アリ

第七節 伸縮制限法

此方法ハ近時獨逸帝國銀行條例ニ於テ紙幣發行ニ關シテ採用セラレタル方法ナリ指稱スルモノナリ紙幣發行ニ關スル獨逸ノ銀行制度ハ英國ノ制度ニ類似シ新設ノ帝國銀行及該條例所定ノ條款ニ準據シタル其他ノ銀行ハ正貨準備ナクシテ總額三億八千五百萬マルクノ紙幣ヲ發行シ得ルモノナリ而シテ其餘ノ發行額ハ同額ノ正貨ヲ準備スルニアラサレハ發行シ得サルモノニシテ恰モ前述ノ分額金銀準備法ト異ナル所ナシ然ルニ英國銀行條例ハ恐慌ヲ防遏スルカ爲ニ數之ヲ停止セサルヲ得サルノ困難アリシヲ以テ獨逸ニ於テハ之ヲ修補シテ五分ノ稅ヲ納ムレハ尙ホ準備外ノ紙幣ヲ發行スルヲ得ルモノトシ巧ニ英法ノ不便ヲ避ケタリ蓋此法ヲ以テスレハ銀行ハ紙幣ヲ増發セントセハ五分ノ稅ヲ拂ハサルヲ得サルカ故ニ妄ニ紙幣ヲ増發スルノ憂ナカルヘク市場大ニ乱レ金融逼迫ニ貨幣ノ需要甚ク高利ヲ以テスルモ尙ホ借入ヲ求ムルモ多キニ至ラ

サレハ銀行ハ進テ紙幣ヲ發行スルコトナカルヘシ而シテ右ノ如キ金融市場紊亂シタル場合ニ於テハ銀行ハ世ノ需要ニ應ジ紙幣ヲ増發シ自己ノ信用ヲ以テ社會ノ信用ヲ繼キ得ヘキカ故ニ能ク恐慌ノ危害ヲ避ルルノ利益アリテ英國ノ紙幣發行法ニ比スレハ更ニ改良ヲ加ヘタルモノニシテ能ク金融ノ緩急ニ應ジテ發行ヲ伸縮スルヲ得セシメタルハ實ニ奇巧ナリト稱スヘシ故ニ先ツ現時ニ在リテハ此方法ヲ最良ノモノトシ現ニ我邦ノ制度モ之ニ據リ唯我邦ニ於テハ稅率ヲ五分ニ限ラスシテ之ヲ五分以上ニ定メタルハ尙ホ一步ヲ進メタルモノト云フヘシ

第八節 證券準備法

紙幣ヲ發行スル銀行カ公債證書大藏省證券又ハ商業手形等ヲ以テ準備トナサハ紙幣ノ兌換ニ付キ不便生セサルカ如ク見ユルモ原來紙幣ハ請求次第直チニ正貨ヲ支拂フヘキ約束證券ナルヲ以テ一朝兌換ノ請求アルトキハ銀行ハ直チニ正貨ヲ支拂ハサルヲ得サルカ故ニ先ツ其準備タル證券ヲ賣却シテ之ヲ正貨

ニ兌換スルノ勞ヲ執ラサルヘカラス而シテ此ノ如ク紙幣兌換ノ請求アルノ日ハ通常正貨ノ缺乏セル時ナルヲ以テ此際銀行カ其準備證券ヲ賣却セントスルニ公衆ノ好ミテ之ヲ買取ルモノナク已ムヲ得ス廉價ヲ以テ之ヲ賣却セサルヘカラス或ハ確實ナル公債證書ノ如キニ至テハ常ニ相當ノ代價ヲ以テ賣却シ得ヘキモ若シ一旦兌換請求ノ多キヲ加フルヨリシテ銀行ニ於テ頻リニ證券ノ賣却ヲ試ムルトキハ其價格ハ低落シ終ニ其倒産ヲ來スニ至ルヘシ要スルニ此方法ハ決シテ鞏固ナル紙幣發行法ト云フヘカラス

第九節 不動産抵當法

凡紙幣ノ支拂ヲ保證スルニハ獨リ正貨ノミニ限ラス土地家屋其他ノ不動産ヲ以テ之ニ充ツルヲ得ヘシト論シタルノ學者古來少シトセス彼ノ有名ナルヨシロイ氏ノ如キハ斯ル考案ヲ抱キタルモノニシテ氏ハ土地ヲ抵當トシテ紙幣ヲ發行スヘキコトヲ主張セリ而シテ其之ヲ施行セシ實例ハ佛國革命政府ノ發行シタル「アツシナ」ト稱スル紙幣ニシテ寺院ヨリ沒收シタル土地ヲ抵當トシ

テ之ヲ發行シ此後土地ヲ公衆ニ賣却シ以テ之ヲ引上ンコトヲ謀レリ然ルニ土地ノ代價ハ不定ナリシ故ニ土地ト紙幣トノ間ニ一定ノ比例ナク終ニ土地ハ紙幣ノ下落ヲ防遏スル能ハス是ニ於テカ紙幣ノ價格ハ一時原價ノ二百分一ニ下レリ其後佛國政府ハ又「マンダツ」ト稱スル紙幣ヲ發行スルニ當リ該紙幣ヲ以テ土地ノ代價ヲ見積リ之ヲ一定セント謀リシカ其效ヲ奏スルコトナク紙幣ハ下落スルヲ免レサリキ又普魯士ノフレデリック大王カ戰爭ノ爲ニ糜消セラレタル國庫ノ不足ヲ補充スル爲ニ發行シタル土地抵當不換紙幣ナルモノハ其性質前記ノ紙幣ニ類スルモノナリシモ之ハ利子ヲ有セリ

此方法ハ固ト大ニ不便ナルモノニシテ之ヲ以テ紙幣ノ發行ヲ整理セントスルハ誤レルモノナリ蓋土地ハ久キナ期シテ紙幣ヲ支拂フ爲ニハ最良ナル抵當ナルコト疑ナク從テ貨幣ノ貸借長期ナルニ於テハ之ヲ抵當トスルハ最モ適當ナルヘキモ紙幣ハ何時ニテモ請求次第直チニ正貨ニ交換スヘキモノナルカ故ニ土地ノ如ク俄ニ正貨ニ變更スルノ困難ナルモノヲ以テ紙幣ノ抵當トナスナラハ銀行ハ兌換ノ要求ニ應シテ直チニ正貨ヲ拂出スコト容易ナラス爲ニ倒産ス

ルノ恐アリ此點ニ於テハ不動産準備ハ公債證書大藏省證券等ノ準備ニ比シテ尙ホ一層其當ヲ得サルモノアリ

又紙幣發行ニ此方法ヲ以テセハ貨幣ヲ増加スルコトヲ得以テ國富ヲ増殖スルノ利アリト説クモノアレトモ是ハ大ナル誤ナリ抑、貨幣ノ増加ハ其價格ノ減少ヲ來シ物價ノ騰貴ヲ招クヲ免レス而シテ一國ニ於テ要スル所ノ通貨ノ高ハ略ホ定レルモノナルカ故ニ若シ土地其他ノ物件ニ兌換スヘキ紙幣ノ高多キニ過クルトキハ必スヤ早晚兌換ノ請求ニ遭ハサルヲ得サルカ故ニ紙幣ノ高多額ナルモ決シテ國民ノ富ヲ増殖スルモノナリト云フヲ得サルナリ

第十節 外國爲換法

此方法ハ現世紀ノ初メ英國ノ銀行家社會ニ於テ大ニ勢力ヲ有シタルモノニシテ通貨ハ獨リ外國爲換ノ順逆ヲ以テ整理スヘシト云フニアリ此法ハ紙幣ノ増發ヲ防クニ足ルヘシト雖モ爲換ノ變動ハ種々ノ原因アリテ其順逆ハ必スシモ紙幣ノ多少ニノミ依ルモノニアラス外國爲換我ニ順適ナルモ紙幣或ハ多ニ過

ルコトモアリ或ハ我ニ逆戻ナルモ紙幣ノ高超過スルニアラサルコトアルヘキカ故ニ單ニ此法ニ依リテ紙幣ノ發行ヲ調理スルハ得策ニアラサルナリ

第十一節 自由發行法

此法ハ毫モ紙幣發行法ニ關シテ制限ヲ設ケス全ク各人ヲシテ請求拂ノ約束證券ヲ隨意ニ發行セシムル方法ナリ此方法ヲ主張スル英米ノ經濟學者ハ之ヲ稱シテ自由銀行法ト云フ然レトモ銀行ハ必スシモ紙幣ヲ發行スルモノニアラス英國ノ如キニ於テハ紙幣ヲ發行セサル銀行多キヲ以テセボンス氏ハ自由銀行法ナル名稱ヲ不穩トシ之ヲ自由發行法ト稱セリ此法ニ依レハ銀行者ハ其發行シタル紙幣ヲ支拂フノ義務ヲ法律上負擔スルノミニシテ其發行ニ對スル準備ニ關シテハ全ク銀行者ノ隨意ニアルモノナリ此方法タル畢竟各人ノ利益ニ放任スルモノニシテ紙幣ヲ増發スルトキハ其價格低落スルノ不利益アルヲ以テ紙幣増發ノ憂ナカラシムルモノナルカ如シト雖モ凡ソ商業ニハ浮沈アリ紙幣支拂ノ請求一時ニ甚タシキヲ加フルコトアルヲ以テ斯カル場合ニ際シ準備金

少ナキニ於テハ銀行者ハ狼狽セサルヲ得ス又諸銀行ノ間ニ競争アルハ通常ノ
コトニシテ殊ニ倫敦ノ如キニ於テハ激烈ナル競争アルカ故ニ發行ヲ自由ニ放
任スルトキハ投機競争ノ爲メ増發ヲ招クノ憂アルモノナリ故ニ此方法ハ危險
ナルモノニシテ紙幣發行ニハ多少ノ制限ヲ加フルコト固ヨリ必要ナリ

第十一節 金紙平均法

不換紙幣ハ往々弊害ヲ來スモノナルモ若シ政府全ク之カ發行ヲ掌トリ常ニ金
ノ價格ニ注意シ若シ金紙ノ間ニ差ヲ生シ紙幣ニ對シテ金貨騰貴スルトキハ其
發行ヲ減縮セハ能ク不換紙幣ノ弊害ヲ少ナカラシムルコトヲ得ヘシ紙幣ニシ
テ正貨ト同等ノ價格ヲ以テ流通スル間ハ敢テ兌換紙幣ト異ナルコトナク其效
用大ニシテ且ツ安全ナルヲ以テ之ヲ減縮スルノ必要アラサルモ若シ其價格正
貨ノ價格ニ比シテ下落スルトキハ畢竟其供給夥多ナルヲ示スモノナルヲ以テ
之ヲ引上クルヲ以テ良策トス夫ノ普佛戰爭ノ際佛蘭西銀行ハ此方法ヲ以テ發
行ヲ整理シタルカ爲メ其發行ニタル不換紙幣ハ此國ノ財政困難ニモ拘ハラズ

僅ニ二百分ノ一乃至百分ノ一ノ下落ニ止マレリ此方法ハ能ク紙幣ノ價格ヲ維
持スルノ力アルヘキモ紙幣久シク流通スルトキハ假令外國爲換ノ我ニ逆フコ
トアルモ紙幣ノ下落ハ容易ニ現ハレス又外國爲換順逆ナルモ紙幣ノ増發甚タ
シク其下落ヲ見ルコトアリ故ニ不換紙幣ノ整理ニ關シテハ金紙平均法ハ外國
貿易法ヲ並用スルヲ最モ適當ナリトス

第十三節 租稅支拂法

紙幣ノ價格ヲ維持センカ爲メニ政府ハ或ハ租稅トシテ之ヲ受取ルコトヲ約束
シ或ハ之ヲ租稅上納ノ爲メニ使用スルコトヲ強制シタル例少ナカラス露國政
府ハ其紙幣ヲ發行スルニ當リテ一定ノ價格ヲ以テ銅貨ノ代ハリニ之ヲ受取リ
且ツ租稅上納ノ都度其租稅ハ二十分ノ一ハ必ス紙幣ヲ以テスヘキコトヲ命セ
リ佛國革命ノ時ニ於ケル「アツシニヤ」紙幣モ亦國庫ニ於テ之ヲ受取レリ此法ニ
依リ紙幣ヲ發行スルトキハ其紙幣タル租稅上納ノ爲メニ使用セラレ正貨ト異
ナラサル需要アルヲ以テ其價格ノ不動ヲ維持スルノ良法ナルカ如クシテ若シ

其發行ニ制限ヲ置キ其需要高キ超過セシメサルトキハ敢テ不便ナカルヘキモ紙幣ハ其制限ヲ超ヘ増發ヲ爲シ易キモノニシテ遂ニ云フヘカラサル禍害ヲ來スモノナルカ故ニ此方法モ亦容易ニ採用スヘカラス

第十四節 後年兌換約束法

革命政府若クハ反逆人等カ資本ノ不足ナルヨリ先ツ證券ヲ發行シ事成ルノ後金銀ニテ之ヲ支拂フコトヲ約束スルコトアリ或ハ此證券ニ其期限ニ應シテ利子ヲ付スルアリ然ルトキハ其證券ハ之ヲ紙幣ト云ハンヨリハ寧ロ公債證書ト看做サルヘカラス嘗テハンガリヤ人コスート氏カ新育ニ於テハンガリヤノ公債ヲ募リハンガリヤ政府ノ獨立ヲ得タル後之ヲ支拂ハンコトヲ約シタルカ如キハ即チ此方法ヲ取リタルモノナリ又米國ニ於テ南北戰爭ノ際南方同盟國ノ發行シタルモノ、如キモ此種類ニ屬スルモノナリ此南方同盟國ニテ發行シタル手形ハ其初メニ發行シタル分ハ南北諸州ノ和睦締結後六箇月ヲ期シテ支拂フコトヲ約シタリシカ其後發行シタルモノハ二箇年ヲ期シテ支拂フコト、

セリ

凡ソ此種ノ證券ハ長期限ニシテ且ツ其價格不確實ナル手形ト看做スヘキモノナルカ故ニ平時ニ於テハ之ヲ發行スルコト能ハサルモ戰爭ノ際人民ノ公共心ニ依リテ能ク流通スルコトヲ得且ツ實際軍費等ノ爲メニ通貨ノ必要アルニヨリ一時ハ其價格ヲ保チ通用スルコトヲ得ルモノナレトモ其價格ハ激烈ナル變動ヲ受クルコトヲ免カレス斯ノ如キ手形遂ニ満足ニ支拂ハレタル例證ハ極メテ稀ナリ

第十五節 不換紙幣

不換紙幣ハ全ク一紙片ニシテ政府之ヲ發行シ法貨トシテ授受セシムルコトヲ令スルモノニシテ法律ノ力ニ依リ其價格ヲ有スルモノナリ紙幣ハ之ヲ正貨ニ兌換スルコトナキニ於テモ或ハ習慣ニ依リ或ハ人民通貨ヲ要スルモ使用スヘキ正貨ナキニ依リ或ハ人民正貨ヲ有スルモ之ヲ貯藏スルトニ依リ紙幣ハ尙ホ盛ニ流通スルコトヲ得ルコト珍シカラス故ニ不換紙幣ハ若シ巧ニ其高ヲ制

限一國之需要點ニ超過セシメザルトキハ其名目價格ヲ維持スルコトヲ得ル
モノニシテ之ヲ説明スヘキ實例乏シカラズ例ヘハ英國ニ於テ千七百九十七年
正貨支拂停止後數年間ニ於ケル英蘭銀行紙幣ノ如キ又普佛戰爭後佛蘭西銀行
紙幣ノ如キ皆之ヲ證スルニ足ルモノナリ不換紙幣ハ其弊害多キモ其最モ著シ
キモノヲ舉クレハ三アリ即チ

第一 増發シ易キコト

第二 彈力ナキコト

紙幣ヲ兌換スルノ義務ヲ法律上除去シタルヨリシテ紙幣ノ増發從ヒテ起リタ
ルコトハ實ニ普通ノ事實ニシテ古來何レノ國ニ於テモ未タ嘗テ紙幣ノ害毒ヲ
蒙ラサルモノ殆ンド稀ナルカ如シ露國ハ劣惡ナル紙幣ヲ有シタルコト百年以
上ニ涉リ其間屢勅令ヲ以テ紙幣ノ發行ヲ制限シタルコトアリシモ少シモ其效
ナク忽ニシテ軍費其他ノ費用ノ爲メ紙幣ノ増發相踵キテ起レリ伊太利壤土利
合衆國ノ如ク經濟思想進歩シテ巧ニ施政ヲ指導スヘキ諸國ニ於テモ不換紙幣
ノ害ヲ蒙ルコトヲ免ル、ヲ得ズ殊ニ合衆國ノ諸洲カ嘗テ紙幣ノ爲メニ蒙リタ

ル災害ハ最モ甚ダシキモノナリウエズタト氏ハ紙幣ノ害ヲ評シテ曰ク紙幣
ノ爲メニ吾人ヲ蒙リタル痛苦ハ總テノ他ノ原因若クハ災疫ヨリ生シタルモノ
ヨリ甚シク其人衆ヲ殺戮シ邦國ノ利益ヲ損傷シ正義ヲ破壞シタルヤ吾人敵手
ノ兵器及ヒ銃砲ノ爲メタル所ニ優レリト
或ハ不換紙幣ヲ發行ハ政府財政ノ乏シキ日ニ當リテ人民ヨリ公債ヲ強募スル
ノ便法ナリト論スルモノアリ固ヨリ政府ニシテ此方法ヲ取ルトキハ容易ニ資
金ヲ得且ツ之ニ對シテ利息ヲ拂ハス以テ負擔ヲ減縮スルノ利益アルカ如キモ
一般社會ハ之カ爲メニ弊害ヲ蒙リ紙幣増發ノ爲メ物價ノ騰貴起リ債主ヲ苦シ
メ負債主ヲ惠ムノ結果ヲ來スヘシ斯ノ如ク債主負債主間ノ契約ニ不都合ヲ生
セシムルコトハ政府ノ爲メニスヘキ所ニアラサルナリ
紙幣第二ノ弊害ハ即チ紙幣ハ貿易ノ需要ニ應シテ自然ニ其高ヲ増減スル能ハ
サルコト是ナリ蓋シ紙幣ハ是ヲ外國ニ輸出スルコトヲ得ス又外國ヨリ輸入ス
ルコトヲ得ス之カ發行及ビ消却ヲ爲シテ其高ノ増減ヲ掌ルコトヲ得ルモノハ
獨リ政府若クハ政府ノ許可ヲ受ケタル銀行ノミナルヲ以テ貿易活潑トナリ其

流通高ナ増加スルノ必要ナルニ當リテハ獨リ政府ノ命令ヲ俟ツテ始メテ之ヲ行フコトヲ得ヘク而シテ多額ノ紙幣一旦流通シタル後商業委微スルトキハ通貨ノ過剰ヲ來シ其價格下落スルニ至ルヘシ此場合ニ於テモ政府亦之ヲ引上ケテ其高ヲ減縮セサルヘカラス然ルニ如何程聰明ナル政府ニテモ能ク一國通貨ノ需要ノ緩急ヲ判定シテ誤リナク且ツ公平ヲ失スルコトナキヲ得ス左レハ通貨ノ供給ハ恰モ一般ノ物件ノ如ク需要供給ノ法則ニ從ヒテ増減セシメサルヘカラス紙幣ハ實ニ其高ノ増減ニ關シテ自動的ノ力ヲ有セサルノ不便アルモノナリ

紙幣ハ此ノ如キ弊害ヲ有スルノミナラス尙ホ又紙幣ノ増發ハ物價ノ騰貴並ニ投機空商ノ弊ヲ來タシ市場ヲ紊亂シ貸借ノ關係ヲ毀損スル等其弊害枚舉ニ暇アラサルモ若シ其發行ヲ慎ミ之ヲ一國需要點以內ニ止メ置クトキハ決シテ恐ルヘキモノニアラス又國家危急存亡ノ秋ニ於テハ不換紙幣ハ極メテ有用ナルモノニシテ能ク國家ノ將ニ亡ヒントスルヲ維持シ又新國ノ將ニ興ラントスルヲ助クルカ如キニ至リテハ其效用決シテ鮮少ナラサルナリ

第十九章 信用證券

第一節

信用ハ通貨ヲ饒多ナラシメ財産ヲ増殖スル等種々ノ怪力ヲ有スルモノト思惟スルモノアルモ信用ハ決シテ資本ニアラス只資本ヲ運轉スルモノニシテ其支拂ヲ後日ニ期スルモノニ外ナラサルナリ然ラハ信用證券ナルモノハ直チニ之ヲ以テ資本トナスヘカラスシテ只現在支拂フヘキモノヲ後日ニ支拂フヘキヲ表示スルノ要具タリ而シテ其信用ノ多寡ヲ計リ負債ノ現在價格ヲ定ムルニ就テモ五箇ノ事情ヲ詳カニセサルヘカラス則チ

第一 金額

第二 期限ノ長短

第三 支拂ノ確否

第四 其期限間行ハルヘキ利子ノ歩合

貨幣論

第五 作其タリル法律上ノ責任

右等ノ點ニ付キ種々ノ信用證券相異リテ其交換ヲ簡易ナラシムルノ程度亦等シカラス

第二節 銀行紙幣

銀行紙幣ハ銀行カ發行スル約束手形ニシテ其表面ノ金額ヲ要求次第直チニ持參人ニ支拂フヘキモノナリ紙幣ハ正貨ト等シク彼我ノ間ニ移轉スルヲ得ルモノニシテ其所持人ハ正貨ヲ所持スルト異ナル所ナク全ク所有者ハ何時ニテモ直ニ其約束ノ履行ヲ請求シ得ルモノナリ若シ銀行ニシテ其ノ支拂ニ應スル能ハサル場合ニ於テハ銀行ハ固ヨリ其責ヲ免レサルモ其紙幣カ是マテ轉輾シ來タリタル人々ノ間ニ責任ヲ生スルコトナシ故ニ銀行紙幣ハ金屬貨幣ノ如ク負債ヲ整理シテ義務ヲ除去スル爲ニ之ヲ用非得ルモノナリ紙幣ハ利子ヲ有セス且又其最終ノ支拂カ疑シキ場合ノ外ハ割引ヲ以テ之ヲ買取ルコトナシ故ニ紙幣ノ所持人ハ通常正貨ノ所有者ノ如ク之ヲ貯存スルノ意思ナキコト通常ナリ

其目下ノ必要アル高丈ハ手元ニ存シ置キ其他ノ紙幣ハ之ヲ銀行ニ預入ルレハ利子ヲ得且貯存上安全ナルカ故ニ紙幣ハ各人ノ倉庫中ニ保存セラレスニテ常ノ正貨ノ如ク流通スルノ傾向ヲ有スルモノナリ

第三節 小切手

小切手ハ銀行ニ宛テタル命令書ニシテ銀行ヲシテ其表面ノ金員ヲ要求次第小切手ノ持參人ニ支拂ハシムルモノナリ小切手ハ又紙幣ノ如ク利子ヲ有セス且人々ノ間ニ自由ニ讓渡サル、モノニシテ其所持人ハ則チ之カ所有者タルモノナリ而シテ之ヲ讓渡スニハ裏書ヲ以テスルモノナリ小切手ハ處ニ依リテハ正貨及ヒ紙幣ノ代リニ用非ラル、主タル流通ノ要具トナルコトアルモ小切手ノ使用ハ明瞭ナル不便アルヲ免レス蓋シ小切手ハ其形狀諸銀行ニ依リテ異ナルカ故ニ各銀行ノ小切手ノ體面ヲ熟知スルコト難ク振出人ノ印章及其信用ノ多少等ヲ逐一調査スルコトハ到底爲シ得ヘカラサルコトニシテ若シ公衆カ十分小切手ノ使用ニ慣レ日々之ヲ授受スルニ於テハ詐欺ヲ行フコト容易ナリ而シ

テ小切手ノ價造モ之ヲナスコト容易ナルモ敢テ之ヲナスノ必要ナク外ニ尙ホ之ニ勝レル奸策ヲ行フコトヲ得則チ銀行ヨリ受取リタル小切手帳へ其預金高ニ超過セル金額ヲ記入シ之ヲ流通セシムルコトヲ得故ニ此等ノ小切手ヲ受取ルモノハ詐欺若クハ振出人ノ破産ニ遭フノ危険ニ陷ルノ恐アルモノナリ加之ナラス小切手ヲ宛テタル銀行ニ於テ破産スルノ憂アリ銀行カ破産スルトキハ手形ノ所持人ハ手形ヲ受取リタル翌日銀行執務時間中其支拂ヲ請求スルニアラサレハ振出人ニ對シテ支拂ヲ請求スルヲ得ス畢竟此ノ如キ制限ヲ設クル所以ハ銀行カ破産スルトキハ振出人ハ其小切手ノ支拂ニ供スヘキ預金ヲ失フ然ルニ尙ホ所持人ノ懈怠ヨリシテ損失ヲ受クヘキニアラサレハナリ此規定ハ英國ニ於テ小切手ヲシテ正貨ノ代リニ流通セシメス其發行後速ニ銀行ニ持參セシムルノ效能アリ故ニ小切手ハ只貨幣ヲ移轉スルノ要具タルニ過スシテ長期ノ信用ヲ付スルモノニアラス又小切手ハ利子ヲ生セサルカ故ニ久シク之ヲ所持スルモ利益ナク且之ヲ以テ正貨若クハ紙幣ニ交換セント欲セハ只銀行ニ赴クノ勞アルノミニシテ正貨及紙幣ハ等シク利子ノ附加セサルモノナルモ小切

手ヨリ安全ナルモノナルカ故ニ通常小切手ヲ貯藏スルノ愚ヲナスモノ之アラズ小切手ノ所有者ハ其小切手ヲ銀行ニ預ケ其金高ヲ預金トスルトキハ多少ノ利子ヲ受クルコトヲ得ルカ故ニ之ヲ銀行ニ預入ルコト得策ナリ小切手ニハ數多ノ種類アリ其重ナルモノ左ノ如シ

銀行小切手トハ一銀行カ他ノ銀行ニ宛テタル者ニシテ回金ノ手段トシテ使用スルモノナリ 暫シテ斯ク小切手ヲ使用スル雙方ノ銀行カ何レモ信用ヲ有スルモノナルトキハ右ノ如キ小切手ハ銀行紙幣ト同様ニ流通スルコトヲ得ヘシ故ニ此種ノ小切手カ盛シニ發行セラルトキハ彼ノ紙幣發行ヲ制限スル法律ヲシテ無用ニ歸セシムルノ恐アリ然レトモ幸ニ英國ノ如キニ於テハ習慣ノ勢力若クハ法律ニ對スル尊敬心ノ厚キヨリシテ未タ此ノ如キ計畫ヲナセシモノ之アラズ銀行小切手ハ他ノ小切手ノ如キ迅速ニ正貨ニ引換ヘラルコト通常ナリ

保證小切手ハニユーヨークニ於テ用ヒラ、モノニシテ尙ホ一層銀行小切手ニ類似スルモノナリ此小切手ハ宛テラレタル銀行ノ證印ヲ要シ請求ニ應ジテ必

ス支拂フヘキコトヲ該銀行カ保證スルモノナリ銀行カ此類ノ小切手ヲ證明スルニ當リテハ其手形ニ應スヘキ振出人ノ預金ヲ有スルカ若クハ預金ナクトモ必ス其小切手ノ支拂ニ應スヘキコトヲ保證スルモノナリ

第四節 爲換手形

爲換手形ハ被宛人ヲシテ其表面ニ記載セル時日ニ於テ正當ナル所持人ニ金員ヲ支拂ハシムル所ノ命令書ナリ而シテ其請求拂ノモノナルトキハ小切手ト異ナル所ナク只爲換手形ハ銀行ヨリ信用少キ箇人ニ宛テタルコトヲ通常トナスノ差アルノミ又請求拂ナラスニテ期限拂ナルトキハ發行ノ日ト支拂ノ日トノ間ニ若干ノ時日アリテ其時日間ハ貨幣ヲ請求スルヲ得サルカ故ニ此種ノ手形ハ通常利子ヲ有シ若シクハ其期限マテノ利子ヲ見積リ割引ヲ以テ賣買セラル、モノナリ且此手形ハ之ヲ持參人ニ支拂フコトアルモ特定セル人ニ支拂フコト通常ナリ又裏書ヲ以テ更ニ他ノ特定人ニ讓渡シ得ルモノナリ而シテ此ノ如ク彼我ノ間ニ移轉スルニ當リ終ニ正當ニ支拂ハル、ニ至ルマテハ之ニ關係シ

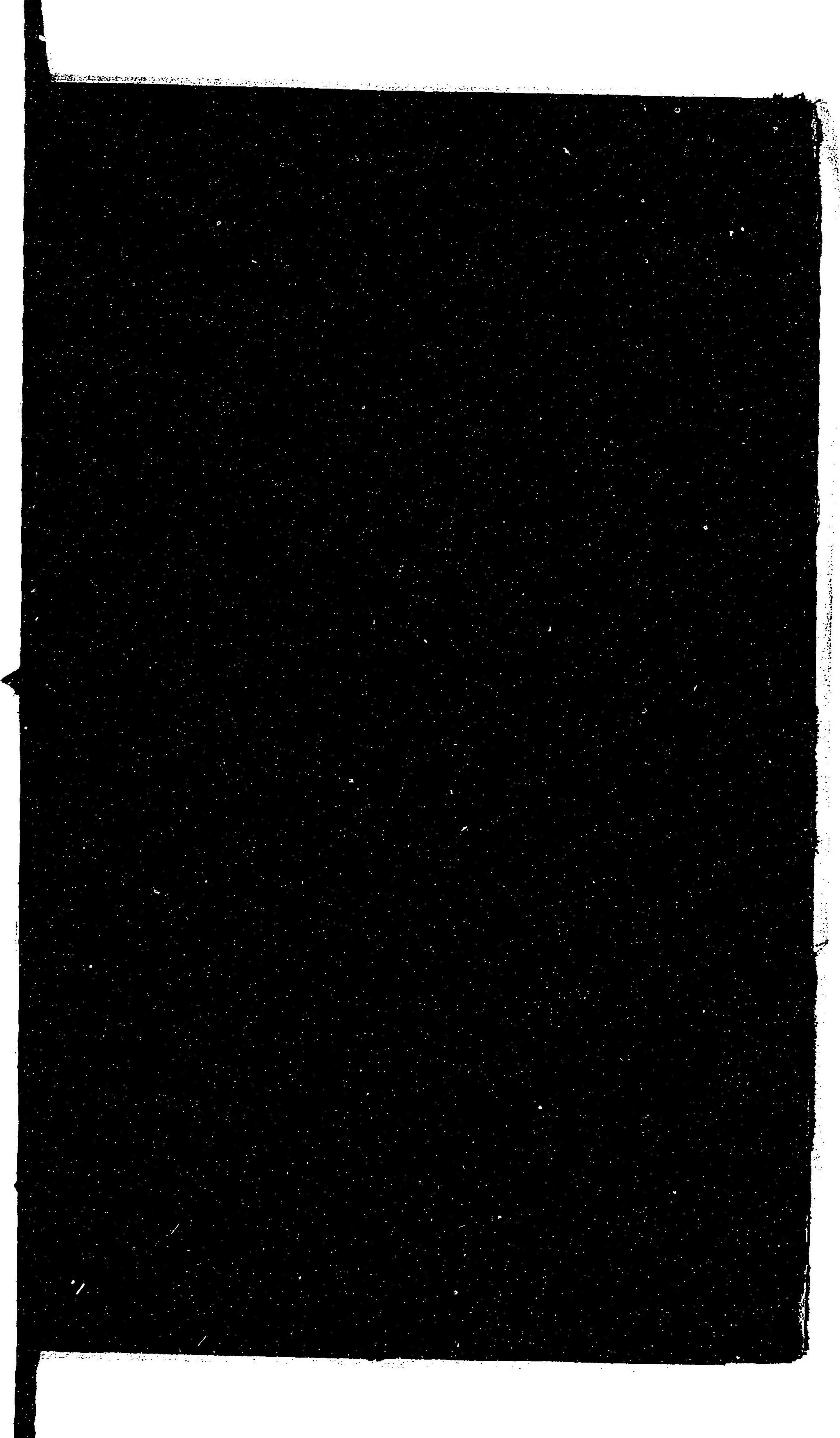
タル人々ハ多少ノ責任アルヲ免レス然レハ爲換手形ハ正貨ト異ナルコト明カニシテ正貨ハ利子ヲ有セス且負債支拂ノ爲ニ引渡サル、トキハ責任ヲ除去スルモノニシテ決シテ責任ヲ存スルコトナキモ爲換手形ハ之ニ反スルモノナリ右ニ列舉シタル諸種ノ信用證券ハ皆正貨ヲ省約スルノ要具ニシテ其金融ヲ補助スルコト莫大ニシテ實ニ驚クヘキモノナリ則チ小切手ノ如キハ歐洲諸國ニ於テ盛ニ用キラル、所ニシテ諸般ノ支拂ニ之ヲ用キ殆ト正貨ノ使用ナクシテ巨額ノ取引ヲ結了スルヲ得ルコト交換所ノ有様ヲ見ルモ明カナリ又爲換手形ハ内國手形ト外國手形ノ別アリテ何レニセヨ正貨ノ使用ヲ省クハ勿論些少ノ資本ヲ以テ大ナル生産分配ノ事業ヲ行フヲ得セシメ又巨額ノ正貨ヲ内外國ノ間ニ運轉セシメテ僅ニ一片ノ紙ヲ以テ外國取引ヲ完クスルヲ得セシムルモノナリ

以上余輩ハ主トシテゼボンス氏ノ貨幣論ニ依リ金屬貨幣紙幣及信用證券等ヲ説キ畢リタリ尙ホ此他原書ニ依レハ交換所制度小切手銀行外國爲換手形英蘭銀行及貨幣市場等講究スヘキ件少ナカラスト雖モ今ヤ學期盡キ期日ナ

キヲ以テ更ニ講述スルコトヲ得ス加之ナラズ右ニ列記シタル交換所其他ノ諸件ハ尙ホ銀行論爲換論金融論等ニ於テ詳説スヘキモノニシテ貨幣論ノ主要ナル部分ハ概テ上述シタル所ヲ以テ足レリト信スルヲ以テ余ハ先ツ貨幣論講義ヲ此ニ止メ置カントス

貨幣論終

111
612



14

6121

040969-000-5

14-612

貨幣論

長崎 剛十郎/述

M14

BDF-0069



